

平成30年度 事業報告書

令和元年 5月

社会福祉法人 大野城市社会福祉協議会

2018年（平成30年）度事業報告

1. 事務局体制並びに職員強化	参照ページ
<p>平成30年度は、2名の増員、2名の補充、初めての再任用職員配置など、新しい体制で出発いたしました。人員の増強により、各課における職務ごとに主担当と副担当を明確化することができました。職員が業務に邁進できるように、課長が、効率的で円滑な業務運営に挑戦しております。また、社協として行う新規研究事業・リメイク事業などについては、課を横断したプロジェクトチームを設置し、主担当者をリーダーとして、メンバー全員の視点を活用した新しい発想とニーズ把握など事業を再認識することで業務の推進を進めています。</p> <p>日常の業務については、会長を中心として毎月定期的に所属長会議を開催し、業務進捗状況や計画、社協の課題・各課内の課題を提議し、意見交換をおこなっています。また、この会議では、全国や県の動向を学び、大野城市社会福祉協議会の方向性の議論をおこなっています。その内容を各課長が課内会議で職員に理解を促す努力を重ねています。</p> <p>新しく入職した職員には、一日も早く大野城市社協の一員として職務に携わっていただきため、入職直後に「新人職員研修」として業務についての座学・同行・体験をおこなっています。</p>	平成 30年度 職員体制 P. 55
2. 総合福祉センターの長寿命化への対応とシビックゾーン内施設との情報共有	
<p>大野城市公共施設等総合管理計画に基づき、総合福祉センターも長寿命化をテーマに改修工事の要望をおこなってまいりました。大野市の複数の担当課と協議を数年重ねてまいりました。その結果、平成31年度トイレを中心とした大規模改修工事が実施となります。引き続き一層誰もが利用しやすい福祉の拠点を目指してまいります。</p> <p>平成30年度のふくしふェスティバルは、「まどかぴあ」をメイン会場に「ふるさと館」「総合福祉センター」の連携事業により、賑わいを博しました。</p> <p>また、まどかぴあの声掛けにより“コネクテッド会議”と題した「まどかぴあ・ふるさと館・総合福祉センター」3館連携を協議する会議により、より利用しやすい館運営と各館の特色を活かした一体的協働事業の研究をおこなっています。</p>	P. 48
3. 社会福祉法人のネットワークを構築	
<p>大野城市内の社会福祉法人に賛同の声掛けをおこない、社会福祉法人連絡会の発足に向けて、参加法人の代表者会議にて協議をおこない、7月31日大野城市長・福岡県社会福祉協議会出席のもと13法人にて発足しました。</p> <p>社会福祉法人連絡会の連携にあたり、「顔の見える関係づくり」のための実務者会議を複数回開催し、各法人紹介や法人の強みなどがわかるフェースシート作成をおこないました。そして平成31年度は大野城市社会福祉法人連絡会マップを作成配布し、地域の皆さんの「頼りになる存在」を目指してまいります。</p>	P. 36

4. 権利擁護事業の拡充(個別支援の強化)と調査研究	参照ページ
<p>権利擁護事業として、ふくし何でも相談・弁護士による心配ごと相談、福岡県社協の委託事業である生活福祉資金貸付事業と日常生活自立支援事業、大野城市社会福祉協議会法人後見事業を展開しました。中でも、日常生活自立支援事業では金銭管理のサポートが必要なケースが急増し支援をおこなっています。そして支援対応する生活支援員の増員のため、この事業への理解を広げ、福祉活動を行われたことのある方々にお声掛けし人材の発掘をおこなっています。</p> <p>また、大野城市福祉課がおこなっている生活困窮者自立支援制度における相談対応・生活保護の対応について、連携・協働し相談者を支援しています。（生活福祉資金の手続き、社協への物品寄附を活用し食料・ふとん・小電気機器などを寄贈）</p> <p>福岡県社会福祉協議会の「ふくおかライフレスキュー事業」に参加している大野城市内の3社会福祉法人で、地域ニーズに対する連携について共有会議をおこないました。これからも具体的なニーズを想定した会議を継続しておこなっていきます。</p> <p>平成30年度より新たに着手した“死後事務”について、自分が亡くなった後の手続きに関する知識を啓発するため権利擁護セミナー「人生の最終章を自分らしく生きるためにの備え」を開催しました。セミナー参加者よりいただいたアンケートをもとに、さらに研究を進めます。</p>	P. 50 ～52
5. 地域包括ケアシステムにおける生活支援体制整備協議体等の運営	
<p>平成29年度に引き続き、大野城市すこやか長寿課より委託をうけ、第1層協議体の運営、第2層協議体の設置、社会資源調査、基幹・地区生活支援コーディネーター定例会議の実施をおこないました。平成30年4月に第1層協議体「もしやいネット」が発足いたしました。9月には社会資源調査結果を「大野城市くらしのもやい帳」として2,000冊を発行し、地域の高齢者に役立つ情報を提供いたしました。各資源にアンケート調査をおこない更新活動をおこなっています。</p> <p>また、第2層協議体の平成30年度内設置に向けて、先行モデルとして南コミュニティ運営協議会のまちづくりワークショップと連動させていただき、南コミュニティ第2層協議体発足が平成31年4月の総会にて正式に承認されました。</p>	P. 33
6. 福祉教育の充実	第2期市民活動推進計画
<p>大人を対象とした福祉教育（「ふーちゃんゼミナール」）と、学校での福祉教育をおこないました。特に学校での福祉教育では、①福祉教育教材「ともに生きる」を市内小学校4年生全員に配布し啓発をおこないました。②学校での福祉教育は、障がい当事者の方、ボランティア、地域の方々との協働により、昨年の128%の実施となり、延べ3,556名の児童が福祉を学びました。③福祉教育基礎研修会は、細かな日程調整を行い、教職員47名、民生委員児童委員41名、福祉委員21名など計115名（前年比230%）で開催いたしました。その時、第1期市民活動推進計画における福祉教育推進校「大野小学校実践報告」をおこなっていました。（福岡県社会福祉協議会主催研修会においても大野小学校長谷教諭に実践報告を発表）第2期市民活動推進計画における福祉教育推進校は平成30年度より大野北小学校3、4年生を対象に福祉教育プログラムを実施しています。</p>	P. 23 ～26

7. ボランティアセンター機能強化に向けて	第2期市民活動推進計画	
<p>平成30年度は職員の増員にともない、ボランティアセンター事業に専任で取り組むことができ、エントリーシステム開発プロジェクトチームを設置し、強化に取り組みました。エントリーシステムは、メニューは平成29年度の13件増しの32件の活動へと拡大できました。ボランティアセンターのレイアウトにおいては、“また来なくなる、ボランティアセンター”を目指して工夫を重ねています。</p> <p>被災地支援については、災害ボランティアには、必要な注意事項をアドバイスし、被災地に赴くボランティア170名に保険の加入手続きを行いました。</p> <p>災害ボランティアグループ「ONOJO」が誕生し、市の総合避難訓練の日にあわせて、災害ボランティアセンター設置運営訓練をおこないました。</p>	P. 40 ~42	
8. 事業・活動の財源について		
<p>社協会員会費は例年同様のご支援を賜り、地域の福祉事業や困窮者支援などに活用させていただきました。企業の方々から複数の特別会員ご加入の支援を受けました。</p> <p>一般寄附については、社会状況などにより採納は厳しい状況ですが、平成29年度より数十万円多いご支援を受けることができました。</p> <p>物品寄附については、経済的に困っている方へ譲渡したり、福祉施設や子どもたちへお渡しし、皆さんへの励ましになっています。</p> <p>また、市民の方より「障がいの方のために使ってほしい」と指定寄附があり、当事者団体とつなぎました。</p> <p>平成30年度、開発事業「ふくし応援メニュー」として、商工会サービス部会「相撲鳥」さまのご協力を受け、“鶏ぼっかけ”的売り上げの一部が社協に寄附される仕組みづくりをおこないました。</p>	P. 53	
9. 大規模災害への備えと被災地の応援	第2期市民活動推進計画	
<p>大野城市の総合避難訓練では、市災害対策本部の要請により、社協介護職員が福祉避難所において、避難者の方から聞き取りを行い、避難者の心身管理をしています。平成30年度は中央地区コミュニティーセンターに派遣を行いました。</p> <p>平成30年台風7号接近による避難者対応のために、公民館2か所へ前半で貸布団4組・後半で貸布団等25組を支援し、移動手段のない避難困難者3組をリフトカーにて、福祉避難所や福祉施設に搬送しました。</p> <p>火災の被害状況により、2世帯に布団一式と見舞金を支給しました。</p> <p>被災地支援では、総合福祉センターロビーに、皆さんに人気の“相馬きゅうり漬”的取り次ぎ販売を継続しておこなっています。被災地応援の旅は、日程調整ができず平成30年度は実施を見送りました。</p>	P. 14 P. 16 P. 35 P. 40	

平成30年度 大野城市社会福祉協議会 主な行事・会議等報告書

月	日	曜	事業・行事	事務局会議等	備 考
4	2	月	辞令交付式	コミュニティ福祉部会連絡協議会	
	4	水		広報委員会	専門委員会
	11	水		福祉委員会	
	19	木		所属長会議	
	26	木		ボランティアセンター運営委員会	
			※地域ケア会議…6地区	福祉推進委員会(福祉部)… 15地区	
5	2	水		課長会議	
	11	金		広報委員会	専門委員会
	17	木		所属長会議	
	21	月		決算監査	
	24	木		成年後見運営委員会	
	28	月		正副会長会	
				総務委員会	専門委員会
			※地域ケア会議…15地区	福祉推進委員会(福祉部)… 12地区	
6	1	金		広報委員会	専門委員会
	4	月		コミュニティ福祉部会連絡協議会	
	7	木		理事会	
	13	水		福祉委員会	
	21	木		評議員会	
	27	水		ボランティアセンター運営委員会	
	28	木	大野城市生活支援体制整備第1層協議体(もやいネット大野城)		
			※地域ケア会議…11地区	福祉推進委員会(福祉部)… 14地区	
7	9	月		課長会議	
				広報委員会	専門委員会
	14	土	職員研修		
	19	木		課長会議	
	25	水	第1回大野城市やすらぎのまち市民協議会		
	30	月	福祉教育基礎研修会		
	31	火	大野城市社会福祉法人連絡会設立総会		
			※地域ケア会議…12地区	福祉推進委員会(福祉部)… 13地区	
8	4	土	小中ふれあいの旅事前説明会		
	6	月		コミュニティ福祉部会連絡協議会	
	10	金		広報委員会	専門委員会
	24	金		所属長会議	
	25~26	土・日	小中ふれあいの旅2018		
			※地域ケア会議…13地区	福祉推進委員会(福祉部)…15地区	
9	3	月		福岡県共同募金会大野城市支会理事会	
	8	土	赤い羽根共同募金のつどい		
	9	日	小中ふれあいの旅報告会		
	10	月		広報委員会	専門委員会
	20	木	重度障がい者リフレッシュ事業	所属長会議	
	22・23	土・日	おおの山城大文字まつり		
	27	木	大野城市生活支援体制整備第1層協議体(もやいネット大野城)		
	28	金		情報公開運営審査委員会	専門委員会
				評議員選任・解任委員会	
			※地域ケア会議…12地区	福祉推進委員会(福祉部)… 10地区	

※ 毎月第2土曜日は介護サービス定例研修

月	日	曜	事業・行事	事務局会議等	備考
10	1	月	共同募金運動開始(12/31まで)		
	2	火	第2回大野城市やすらぎのまち市民協議会	コミュニティ福祉部会連絡協議会	
	5	金		広報委員会	専門委員会
	10	水		福祉委員会	
	14	日	ふれあいの旅2018事前説明会		
	19	金		所属長会議	
	21	日	翔んでふれあって2018		
	22	月		福祉事業委員会	専門委員会
	23	火	中央地区番茶の会		
	27~28	土・日	ふれあいの旅2018		
	31	水	東地区番茶の会		
			※地域ケア会議…13地区	福祉推進委員会(福祉部)… 19地区	
11	3	土	まどかフェスティバル		
	4	日	健康食育フェスティバル		
	7	水	南地区番茶の会 筑紫野市役所・筑紫野市社協視察来訪		
	9	金	北地区番茶の会	広報委員会	専門委員会
	11	日	まつり南風		
	14	水		29年度上半期監査	
	15	木		所属長会議	
	21	水	第1回南コミュニティまちづくり計画ワークショップ		
	23	金・祝	ふれあいの旅2018報告会		
	24	土	ふくしふェスティバル2018リハーサル・前日準備		
	25	日	ふくしふェスティバル2018		
			※地域ケア会議…13地区	福祉推進委員会(福祉部)… 14地区	
12	3	月		コミュニティ福祉部会連絡協議会	
	8	土	職員研修(人権)		
	11	火		理事会	
	12	水		福祉委員会	
	14	金		広報委員会	専門委員会
	20	木		所属長会議	
	21	金	第3回大野城市やすらぎのまち市民協議会		
			※地域ケア会議…9地区	福祉推進委員会(福祉部)… 19地区	
1	7	月		ボランティアセンター運営委員会	
	17	木		所属長会議	
	26	土	第2回南コミュニティまちづくり計画ワークショップ		
	31	木	心配ごと相談事業懇談会		
			※地域ケア会議…12地区	福祉推進委員会(福祉部)… 16地区	
2	4	月		コミュニティ福祉部会連絡協議会	
	7	木	成年後見運営委員会		
	12	火		広報委員会	専門委員会
	13	水		ボランティアセンター運営委員会	
	15	金	社会福祉法人連絡会実務者会議		
	17	日	第3回南コミュニティまちづくり計画ワークショップ		
	19	火	大野城市生活支援体制整備第1層協議体(もやいネット大野城)		
	21	木		所属長会議	
	22	金		福祉事業委員会	専門委員会
	28	木	権利擁護セミナー		

月	日	曜	事業・行事	事務局会議等	備考
3	1	金		総務委員会	専門委員会
	5	火	生活支援コーディネータースキルアップ研修会		
	6	水		正副会長会	
				広報委員会	専門委員会
			南コミュニティパパママワークショップ		
	7	木	在宅介護者のつどい		
	10	日	中央地区総合避難訓練		
			災害ボランティアセンター設置運営訓練		
	11	月	おおのじょうボランティアのつどい		
			中央地区復興のタペ		
	13	水		理事会	
	14	木		所属長会議	
	20	火	第4回大野城市やすらぎのまち市民協議会		
	22	金		福岡県共同募金会大野城市支会理事会	
	27	水		評議員会	
	28	木	市指導監査		
			※地域ケア会議…12地区	福祉推進委員会(福祉部)… 17地区	

平成30年度職員体制（平成31年3月末現在）

事務局長(総務企画課長兼務)	1名	
総務企画課	4名	(内、常勤嘱託2名)
募金課	5名	(内、非常勤4名)
権利擁護課	4名	(内、嘱託1名)
地域課	9名	(内、嘱託3名、非常勤1名)
居宅介護支援事業課	3名	
居宅介護サービス課	29名	(内、非常勤21名)
総数	56名	

プロジェクトチーム

課を横断したチームを作り業務を遂行するとともに、職員相互の連携協力により、組織一丸となり、事業・活動を展開。

ボランティアエントリーシステム	総務企画課(1名)、地域課(7名) 権利擁護課(2名)
第2期市民活動計画(市協働)	総務企画課(5名)、募金課(1名) 地域課(5名)、権利擁護課(3名)
ふくしフェスティバル(市協働)	総務企画課(5名)、募金課(1名) 地域課(8名)、権利擁護課(3名) 居宅介護支援事業課(3名) 居宅介護サービス課(8名)
権利擁護事業における事業開発の研究：死後事務等	総務企画課(1名)、地域課(1名) 権利擁護課(4名)、
学校における福祉教育	総務企画課(1名)、地域課(8名) 権利擁護課(1名) 居宅介護サービス課(1名)

平成 30 年度 事業報告書

目 次



「平成 30 年度事業報告（概要）」

I. 法人	
1. 理事会・評議員会等	1
2. 専門委員会	4
3. 情報公開	4
II. 事業・活動	
4. 地域福祉推進事業	6
5. 広報関係	16
6. 法外援助対策事業	16
7. 身体障がい者福祉対策事業	17
8. 知的障がい児者福祉対策事業	18
9. 高齢者福祉対策事業	19
10. 子育て支援事業	20
11. 児童青少年福祉対策事業	23
12. 福祉教育	23
13. 父母子福祉対策事業	27
14. 在宅介護者支援事業	27
15. 平成 30 年度共同募金運動	27
16. 福祉機器貸出事業	29
17. 福祉機器リサイクル事業	29
18. 移送サービス事業	30
19. ハンディキャップ貸出事業	30
20. 福祉食事サービス	31
21. 福祉バス運行事業	31
22. 生活福祉資金貸付事業	32
23. 大野城市生活支援体制整備事業	33
24. 被災地支援活動	35
25. 社会福祉法人のネットワークの構築	36
III. ボランティアセンター事業	
26. ボランティア活動推進	38
27. 声の広報	43
IV. 総合相談事業	
28. 総合相談事業	44
V. 介護サービス事業	
29. 介護サービス事業	46
VI. 総合福祉センター	
30. 総合福祉センター	48
VII. 権利擁護事業	
31. 日常生活自立支援事業	50
32. 法人後見事業	51
33. ライフレスキュー事業	52
VIII. 寄附採納事業	
34. 寄附採納事業	53
IX. その他の事業	
35. ふくしまフェスティバル 2018	54
36. 社会福祉援助技術現場実習受け入れ	54
37. 職員の資格（取得）状況	55
38. 職員内部研修	56
【資料】	
別表 1. 社協会員推進状況	58
別表 2. 地域ケア会議開催状況	59
別表 3. 介護サービス状況	60
別表 4. ほっとサポート状況	63
別表 5. 介護サービス研修会開催状況	64
別表 6. 福祉食事サービス利用状況	65
別表 7. 職員研修参加等実績	66

I. 法人

理事会・評議員会等 1
専門委員会 4
情報公開 4

1. 理事会・評議員会等

理事・監事の任期は、平成 29 年 6 月 12 日から平成 31 年定時評議員会終結時まで。

評議員の任期は、平成 29 年 4 月 1 日から平成 33 年定時評議員会終結時まで。

定款第 15 条第 4 項及び第 28 条第 2 項の規定に基づき、第 1 回理事会は書面表決をおこなった。

① 理事会開催状況 (理事総数 13 名)

開催年月日		議題		出席者
平成 30 年	6月7日	第1回	第1号議案	平成29年度社会福祉法人大野城市社会福祉協議会事業報告書について
			第2号議案	平成29年度社会福祉法人大野城市社会福祉協議会決算書及び監査報告について
			第3号議案	社会福祉法人大野城市社会福祉協議会評議員会の開催について
			第4号議案	福岡県共同募金会大野城市支会理事の推薦について
			第5号議案	障がい者の日常生活及び社会生活を総合的に支援するための法律に基づく指定障害福祉サービス(重度訪問介護)事業所社会福祉法人大野城市社会福祉協議会運営規程の一部改正(案)について
	8月22日	第2回	第6号議案	社会福祉法人大野城市社会福祉協議会 評議員推薦団体からの評議員変更について
			第7号議案	社会福祉法人大野城市社会福祉協議会 常務理事の退任申し出について
	12月11日	第3回	第8号議案	指定障害福祉サービス(居宅介護) 社会福祉法人大野城市社会福祉協議会運営規程の改正について
			第9号議案	社会福祉法人大野城市社会福祉協議会給与規程の改正について

I－法人

	12月11日	第3回	第10号議案	社会福祉法人大野城市社会福祉協議会情報公開に関する規程の改正について	11名
			第11号議案	社会福祉法人大野城市社会福祉協議会評議員会の開催について	
平成 31 年	3月13日	第4回	第12号議案	社会福祉法人大野城市社会福祉協議会市受託事業福祉食事サービス区分資金収支補正予算(案)について	11名
			第13号議案	社会福祉法人大野城市社会福祉協議会平成31年度(2019年度)事業計画書(案)について	
			第14号議案	社会福祉法人大野城市社会福祉協議会平成31年度(2019年度)資金収支予算書(案)について	
			第15号議案	社会福祉法人大野城市社会福祉協議会定時評議員会の開催について	
			第16号議案	社会福祉法人大野城市社会福祉協議会評議員選任・解任委員について	
			第17号議案	社会福祉法人大野城市社会福祉協議会事務局規程及び事務局職員給与規程の改正について	

正副会長会の開催 打合せ会議を2回開催
 (平成30年5月29日、平成31年3月6日)
 理事会・評議員会の議案の事前審議

2 監査会の開催状況

開催年月日		監査内容	出席者
平成 30 年	5月21日	平成29年度の会計決算監査	2名
	11月14日	平成30年度の会計中間監査	2名

③ 評議員会開催状況 (評議員総数 19名)

開催年月日			議　題		出席者
平成 30 年	6月21日	第1回	第1号議案	平成29年度社会福祉法人大野城市社会福祉協議会事業報告書について	16名
			第2号議案	平成29年度社会福祉法人大野城市社会福祉協議会決算書及び監査報告について	
	12月20日	第2回	第3号議案	社会福祉法人大野城市社会福祉協議会情報公開に関する規程の改正について	15名
平成 31 年	3月27日	第3回	第4号議案	社会福祉法人大野城市社会福祉協議会市受託事業福祉食事サービス区分資金収支補正予算(案)について	16名
			第5号議案	社会福祉法人大野城市社会福祉協議会平成31年度(2019年度)事業計画書(案)について	
			第6号議案	社会福祉法人大野城市社会福祉協議会平成31年度(2019年度)資金収支予算書(案)について	

④ 評議員選任・解任委員会開催状況 (委員総数 5名)

開催年月日			議　題	出席者
平成 30 年	9月28日	第1回	評議員の選任について	5名

2. 専門委員会

① 専門委員会開催状況

委員会名	開催年月日	議　題
総務委員会	平成30年5月28日	第1回理事会、第1回評議員会の報告事項と議案について ・平成29年度事業報告について ・平成29年度決算について
	平成31年3月1日	第4回理事会、第3回評議員会の報告事項と議案について ・平成31年度事業報告(案)について ・平成31年度資金収支予算(案)について
広報委員会	平成30年 4月 4日 平成30年 5月11日	社協だより(ふくしんぼ)の編集(169号) 2018.6.1号
	平成30年 6月 1日 平成30年 7月 2日	社協だより(ふくしんぼ)の編集(170号) 2018.8.1号
	平成30年 8月10日 平成30年 9月10日	社協だより(ふくしんぼ)の編集(171号) 2018.10.1号
	平成30年10月 5日 平成30年11月 9日	社協だより(ふくしんぼ)の編集(172号) 2018.12.1号
	平成30年12月14日 平成31年 2月12日	社協だより(ふくしんぼ)の編集(173号) 2019.2.1号
	平成31年 3月 6日	社協だより(ふくしんぼ)の編集(174号) 2019.4.1号
福祉事業委員会	平成30年10月22日	・第2期大野城市地域福祉活動における市民活動推進計画について ・福祉課による社協事業検証結果について
	平成31年2月22日	・社協だより「ふくしんぼ」(広報誌)の発行について ・小中ふれあいの旅について
情報公開 運営審査委員会	平成30年9月28日	・社会福祉法人大野城市社会福祉協議会情報公開に関する規程の見直しについて

3. 情報公開

平成13年より情報公開に取り組み、市民の福祉活動への理解と信頼及び積極的な参加を促進することを目的として行っています。

① 状　況

◇ 情報公開請求人 0名

情報公開請求件数:0件

処理状況:情報公開決定通知:0件

② 情報公開請求 0回

※社会福祉法の改正により、財務及び事業について電子システムの公開が義務として、従来の窓口公開の他に追加されたことに伴い、平成 30 年 9 月 28 日に情報公開運営審査委員にて協議し、平成 30 年 12 月 11 日理事会及び平成 30 年 12 月 20 日評議員会に諮り、廃止に至る。

II. 事業・活動

地域福祉推進事業	6
広報関係	16
法外援護対策事業	16
身体障がい者福祉対策事業	17
知的障がい児者福祉対策事業	18
高齢者福祉対策事業	19
子育て支援事業	20
児童青少年福祉対策事業	23
福祉教育	23
父母子福祉対策事業	27
在宅介護者支援事業	27
平成30年度共同募金運動	27
福祉機器貸出事業	29
福祉機器リサイクル事業	29
移送サービス事業	30
ハンディキャップ貸出事業	30
福祉食事サービス	31
福祉バス運行事業	31
生活福祉資金貸付事業	32
大野城市生活支援体制整備事業	..	33
被災地支援活動	35
社会福祉法人のネットワークの構築	36

4. 地域福祉推進事業

第2期大野城市地域福祉活動における市民活動推進計画の1年目が終了し、それぞれの方策の振り返りを行い、課題や今後の取り組みについてやすらぎのまち市民協議会の委員と福祉課と社協とで共有した。

また地域においては、平成30年度も地域ケア会議をはじめ、地域福祉推進員会やコミュニティ福祉部会に職員が出席し、地域課題やニーズの把握を行っているが、最近では高齢者に限らず、障がい者や不登校の子どもなど、幅広い層の課題があがるようになってきている。

平成30年度実績

① 第2期大野城市地域福祉活動における市民活動推進計画

市と社協が一体的に策定した本計画は、平成30年度から第2期計画がスタートした。第1期の計画の状況を振り返りながら、新しい計画のもとむこう3年間事業を進めていく。またこうした事業の進捗状況や事業内容の評価等については、これまで同様引き続き市民参加型の進行管理機関「大野城市やすらぎのまち市民協議会」に委ねるが、今回より10人の委員のうち、7名の委員が代わり本計画は、ひとつひとつの方策について、実施目的の共有と評価等を行いながら、今後の指針となる意見をいただく。

◇大野城市やすらぎのまち市民協議会

開催年月日			議題	出席者
平成30年	7月25日	第1回	①計画管理・評価シートについて ②実施予定事業内容説明 ③辞令交付式	10名
	10月1日	第2回	①実施済み事業説明 ②実施予定事業説明 ③関心度表、グループ分けについて ④意見交換および発表	10名
	12月21日	第3回	①実施済み事業説明 ②実施予定事業説明 ③グループによる意見交換および発表	10名
平成31年	3月20日	第4回	①実施済み事業説明 ②グループによる意見交換および発表	10名

II 事業・活動

② 福祉委員会活動事業(第18期)

27区各区に1名の福祉委員を委嘱し、偶数月に定例会議を実施。

◇定例会の開催

期日	内容
平成30年 4月11日(水)	大野城市型市民公益活動促進プラットホームについて
平成30年 6月13日(水)	第2期大野城市地域福祉活動における市民活動推進計画について
平成30年 7月30日(月)	福祉教育基礎研修会
平成30年10月10日(水)	出前講座 『大野市の災害対応について』
平成30年12月12日(水)	事例検討・グループ討議
平成31年 2月13日(水)	明日の大野市の地域福祉を考える!徹底討論 そこまで言って(福祉)委員会!!

③ 社会福祉協議会会員推進



◇会員推進状況

	一般会員	賛助会員	特別会員	合計
件数	13,262件	77件	119件	13,457件
口数	20,006口	83口	213口	20,276口
金額	10,094,726円	162,000円	1,065,000円	11,321,726円

前年比 99.9%

※会員推進状況の詳細については、巻末資料「別表1 平成30年度社協会員推進状況」参照

④ 福祉育成援助活動

27区の行政区に地域福祉活動助成金として社協会員会費及び共同募金配分金を交付。

⑤ 地域ケア会議

目的：高齢者の状況を中心に市（基幹型地域包括支援センター）、地域、民生委員、福祉委員、各地区地域包括支援センター、社会福祉協議会がさまざまな情報を共有し、地域での見守り活動や支援活動を推進することを目的に開催され、社協から地区担当者等が必ず出席している。地域ケア会議の開催回数は、困難ケースの増加とともに開催回数も増える傾向にある。平成30年度も平成29年度に引き続き27区全区で会議が開催された。昨年は、居宅介護サービス課のケアマネージャーも出席し、介護サービスの利用者の状況をより詳しく地域の方に伝えたり、社会資源調査にもつなげるきっかけとなった。

地域ケア会議参加状況（開催回数140回）

※ケア会議の開催状況については、巻末資料「別表2 平成30年度地域ケア会議開催状況」参照

前年比 103%

6 各区の地域福祉推進委員会の開催状況



各地域で定期的に開催され地域福祉推進委員会(福祉部会)の会議には社協職員も参加し、コミュニケーションセンターとして各地域の福祉活動を支援している。

会議の進め方は地域の主体性に委ねるところが多いが、ほとんどの地域で社会福祉協議会からの情報提供の時間が用意されて、その際に他の地域で起きていることやニセ電話詐欺等の防犯の呼びかけ等も行っている。また、ミニディの前には、この会議の中で、ミニディの詳細の企画や当日の推進委員の役割分担などを話し合われている。

最近では、高齢者の情報だけでなく、65歳以下の気になる人の情報や障がい者、小・中学生、子育て中の親子の情報も話す機会が増えてきた。

生活支援体制整備事業を進めていく中で、こうした幅広い層の情報に地域が関心を持つことはとても重要なことで、出席する社協職員にも今後幅広い視野を持って会議に臨むことが必要になってきている。

地区担当(南:金丸・山内 中央:永田 東:永田 北:金丸) (開催回数 230回) 前年比 103%

地区	地域福祉推進委員会(福祉部会)	開催回数
南地区	牛頸区地域福祉推進委員会	7 回
	若草区地域福祉推進委員会	6 回
	平野台区福祉部会	11 回
	月の浦区地域福祉推進委員会	7 回
	南ヶ丘1区福祉部	7 回
	南ヶ丘2区地域福祉推進委員会	12 回
	つつじヶ丘区福祉推進部	11 回
中央地区	上大利区福祉推進委員会	5 回
	下大利区愛のネットワーク福祉推進委員会	12 回
	東大利区地域福祉推進委員会	5 回
	下大利団地区福祉推進委員会	12 回
	白木原区地域福祉推進委員会(こだまの会)	6 回
	瓦田区福祉推進委員会	12 回
東地区	釜蓋区福祉部	12 回
	井の口区福祉部会	5 回
	中区福祉部推進委員会	6 回
	乙金福祉部	12 回
	乙金台区福祉部	12 回
	乙金東区福祉部会	7 回
	大池区福祉部	10 回

II 事業・活動

北地区	上筒井福祉部定例会	12回
	下筒井福祉部推進委員定例会	10回
	山田区地域福祉推進委員会	5回
	雑餉隈町区地域福祉推進委員会	-
	栄町福祉推進会定例会	3回
	仲島区地域福祉推進委員会定例会	11回
	畠詰区福祉推進委員会定例会	12回

7 ミニデイよりあい活動

各地域で行われるミニデイは、各地域福祉推進委員会の活動の一環として実施されている。各区で内容を検討し、参加者に親しみのある企画に工夫がみられる。社会福祉協議会も、ふーちゃんゼミナールの活用やコミュニケーションマージャンの貸し出しなどの支援を行っている。

◇ 各区におけるミニデイ活動状況

地 区	名称等	開催日
牛頭	牛頭あいあい会	3班で各々年4回 10:00~14:00
若草	若草あいあい会 足元気教室・音楽サロン	年10回 年12回
平野台	花水木の会 音楽サロン	年7回第1水曜日 年6回
月の浦	菜の花会 音楽サロン	毎月第2金曜日(公民館改修時はお休み) 年6回
南ヶ丘1	友遊クラブ 足元気教室・音楽サロン	年12回第2水曜日 年12回
南ヶ丘2	ひまわり会 ミニデイ	第2木曜日 10:30~13:30 第3木曜日 10:30~13:30
つつじヶ丘	ふれあい会 足元気教室	年10回 年6回
上大利	音楽サロン等	第2金曜日 10:00~12:00
下大利	ミニデイ	年3回 10:00~13:00
東大利	ミニデイ	第4火曜日 10:00~13:00
下大利団地	ミニデイ	年5回 10:00~12:00
白木原	ミニデイ	第4月曜日 13:30~15:00
瓦田	ミニデイ	年5回 10:00~13:00
釜蓋	ミニデイ	第4金曜日 10:00~13:00
井の口	月陽会	第1月曜日 10:00~13:00
中	かたろう会	第3月曜日 10:00~13:00
乙金	かごめかごめの会 等	年11回 10:00~12:00
乙金東	しののめ会 等	年11回 10:00~14:00
乙金台	花草会	年13回 10:00~12:30
大池	こすもすサロン	第3月曜日 10:30~14:00
上筒井	あじさいサロン 音楽サロン	年2回 年6回
下筒井	ミニデイ ひまわりサロン 音楽サロン	年3回 第2・第4火曜日 年6回
山田	ふれあいマージャン ミニデイ	毎月開催 年3回
雑餉隈町	ミニデイ	年12回
栄町	ミニデイ 足元気教室・音楽サロン	年4回 年12回
仲島	ミニデイ 足元気教室・音楽サロン	年2回 年12回
畠詰	ミニデイ	年4回

II 一事業・活動

8 各地区コミュニティ福祉部会の開催状況

各コミュニティで定例的に開催される福祉部会の会議には社協職員も参加し、コミュニティワーカーとして各コミュニティの地域福祉活動を支援している。また平成30年より市のコミュニティ構想によるコミュニティ運営協議会の組織体制の改革が行われ、コミュニティ福祉部会も一部構成メンバーの見直しが行われたコミュニティもあった。

地区担当(南:金丸・山内 中央:永田 東:永田 北:金丸)

(開催回数 33回) 前年比 110%

各地区福祉部会	定例会開催回数	現状と課題
南コミュニティ福祉部会	12 回	コミュニティ単位の活動と区の活動を数多くされている部員や役員部員の方の負担が課題であるため、福祉部会活動においては、一層活動しやすい・参加しやすい内容を検討されている。
中央地区コミュニティ運営協議会福祉部会	6 回	子育て講演会は定員を上回る申込があり、大変好評だった。番茶の会は、参加者も年々増加しており、今後の実施方法について検討が必要である。また推進委員のつどいではこれまで行ってきた事業の振り返りを各区の推進委員と行うことができ、今後の参考になる意見が寄せられた。
東地区コミュニティ運営協議会専門部会 福祉部	9 回	東コミュニティ福祉部会は輪番制で毎年担当地区が変わり、各区より民生委員と福祉委員、推進委員の3名が参加している。平成29年度に引き続き、ロイヤルチェスターで開催された。平成30年度は釜蓋区が担当区。
北コミュニティ福祉部会	6 回	各区より民生委員と福祉委員が1名ずつ参加し定例会が実施されている。平成30年度は『認知症』をテーマに講座や視察研修を実施した。



9 コミュニティ福祉部会の活動支援

◇各地区的コミュニティ福祉部会の活動状況

期日	部会名	人数	内 容
平成30年	6月7日(木) 南地区コミュニティ福祉部会	93	第19回福祉推進委員交流の集い
	6月11日(月) 東地区コミュニティ福祉部会	22	各区福祉部会活動報告と情報交換会(定例会内で実施)
	6月17日(日) 東地区コミュニティ運営協議会	-	「共に生きる福祉のまちづくり～超高齢社会に備える～」講師 筑紫女学園大学 山崎 安則 氏
	7月9日(月) 東地区コミュニティ福祉部会	41	出前講座「大切な人の悩みに気づいてください」うつ病について 講師:すこやか長寿課
	7月11日(水) 北地区コミュニティ福祉部会	100	認知症サポーター養成講座
	8月20日(月) 南地区コミュニティ福祉部会	67	福祉レクリエーション講習会
	8月27日(月) 東地区コミュニティ福祉部会	18	視察研修(福岡市民総合福祉センター)
	7月13日(金) 中央地区コミュニティ福祉部会	78	第10回福祉推進員のつどい 福祉レクリエーション講座「地域で活動できるレクリエーション」
	9月8日(土) 中央地区コミュニティ福祉部会	107	子育て支援教室 講師:チャイルドケアセンターつじヶ丘
	9月28日(金) 南地区コミュニティ福祉部会	15	視察研修(八女市総合福祉センターそよかぜ)
平成31年	11月11日(日) 南地区コミュニティ福祉部会	-	まつり南風(車いす・アイマスク体験、手作り体験)
	1月21日(月) 南地区コミュニティ福祉部会	70	ボランティア入門講座(折り紙)
	2月8日(金) 中央地区コミュニティ福祉部会	-	視察研修
	2月18日(月) 東地区コミュニティ福祉部会	35	福祉推進員の集い研修「傾聴講座」 講師:日本ソーシャルコーチ協会 代表理事 富岡 郁雄 氏
	2月25日(月) 南地区コミュニティ福祉部会	80	いきいき健康教室(ろっ骨エクササイズ～カキラ)
	3月11日(月) 東地区コミュニティ福祉部会	25	各区区長を囲んで テーマ「東地区高齢者SOSネットについて」
	3月13日(水) 北地区コミュニティ福祉部会	24	視察研修(み～んなのオレンヂカフェ)



◇第35回番茶の会(ひとり暮らし高齢者等のつどい)

各コミュニティ運営委員会(福祉部会)主催、社会福祉協議会共催で実施された。

地区	期日	会場	参加者(対象者数)
中央地区	平成30年10月23日(火)	中央コミュニティセンター	245名
東地区	平成30年10月31日(水)	ロイヤルチェスター	137名
南地区	平成30年11月7日(水)	南コミュニティセンター	172名
北地区	平成30年11月9日(金)	ロイヤルチェスター	129名

◇コミュニティ福祉部会の活動推進費の交付

◇コミュニティ福祉部会連絡協議会役員との定例会 6回開催(偶数月)

4地区コミュニティ福祉部会より2名参加し、各コミュニティの取り組み等の情報交換を行っている。

◇共同募金配分金をとおして各コミュニティの福祉活動に助成



10 ふーちゃんゼミナール

第2期大野城市地域福祉活動における市民活動推進計画

市全域に、「向こう三軒両隣」を広げる啓発事業として、地域へ講座メニューを提示しながら地域ニーズに応じた地域主体の学びの場としてコーディネートを行なった。平成30年度は初めてボランティアグループへ講師を依頼しふーちゃんゼミナールを開催した。

◇ ふーちゃんゼミナール開催状況

開催日	内容	受講団体名	参加者数	担当職員・協力団体
4月4日(水)	地域福祉推進活動とは？	平野台区福祉部会	28名	馬場
5月11日(金)	「認知症」を理解する講座	畠詰区福祉推進委員会	30名	阿相
5月11日(金)	地域福祉推進活動とは？	つつじヶ丘区福祉部	14名	馬場
5月24日(木)	地域福祉推進活動とは？	下大利区	35名	永田
6月27日(水)	地域福祉推進活動とは？	仲島区福祉推進委員会	10名	金丸
7月27日(金)	手話ってなーに？	上大利シニアクラブみどり会	90名	手話の会
11月10日(土)	もし近くに認知症の方がいたら	仲島シニアクラブ	20名	幸
1月16日(水)	住んで良かった我がまち大野城を目指して	南地区民生委員児童委員協議会	28名	馬場
2月15日(金)	地域福祉推進活動とは？	栄町福祉推進委員会	8名	金丸・山内

9回 参加人数延べ 263名
(前年比 64%)

11 民生委員児童委員連合協議会活動への助成

◇民生委員児童委員連合協議会は、民生委員法及び児童福祉法に基づき要援護者の見守り等、各区の福祉委員とともに地域福祉のキーパーソンとして活動がなされている。

また、各小学校で行われた福祉教育には、車いす体験やアイマスク体験など子どもたちの安全確保の誘導などの協力を頂いたり、夏の福祉教育基礎研修会にもご参加いただいた。

12 中央地区総合避難訓練

大野城市中央地区コミュニティを対象に、震度6強の地震が発生した想定で総合避難訓練が開催された。

社会福祉協議会は市災害対策本部の要請により介護職員を中心コミュニティセンターに派遣し、福祉避難所で要支援者等への情報聞き取りなどを行った。

開催日：平成31年3月10日(日)

場 所：中央コミュニティセンター

職 員：5名

役 割：福祉避難所内で避難者(要支援者)への情報聞き取りなど

13 中央地区復興の夕べ

市の総合避難訓練と同日に中央コミュニティセンターで、東日本大震災、熊本地震並びに九州北部豪雨災害で犠牲となった方々のご冥福と1日も早い被災地の復興を祈念する「復興の夕べ」が開催された。

開催日：平成31年3月11日(月)18時～20時

場 所：中央コミュニティセンター多目的室

参加者：125名

職 員：1名

主 催：中央地区総合避難訓練等実行委員会

大野城市・中央地区コミュニティ協議会・NPO 法人共働のまち大野城中央コミ・大野城市社会福祉協議会・中央地区民生委員児童委員協議会

14 平成30年度コミュニケーションマージャン貸出状況

貸出地区・団体	貸出期間
南ヶ丘1区福祉部	4月10日
つつじヶ丘区福祉部	4月12日～4月13日
山田区地域福祉推進委員会	4月19日～4月20日
牛頸区地域福祉推進委員会	5月7日～5月9日
山田区地域福祉推進委員会	5月17日～5月18日
山田区地域福祉推進委員会	6月14日～6月15日
上大利区食改善推進会	6月18日～6月19日
乙金東区福祉部	6月21日～6月22日
山田区地域福祉推進委員会	7月19日～7月20日
中区福祉部	7月20日～7月23日
山田区地域福祉推進委員会	8月16日～8月17日

II 一事業・活動

下大利団地区地域福祉推進委員会	8月20日～8月21日
南ヶ丘1区福祉部	9月12日
山田区地域福祉推進委員会	9月20日～9月21日
山田区地域福祉推進委員会	10月18日～10月19日
乙金区福祉部	10月18日～10月19日
山田区地域福祉推進委員会	11月15日～11月16日
山田区地域福祉推進委員会	12月20日～12月21日
山田区地域福祉推進委員会	1月17日～1月18日
乙金東区福祉部	2月8日～2月12日
山田区地域福祉推進委員会	2月14日～2月15日
ボランティア連絡協議会	2月23日
平野台区福祉部	3月6日
南ヶ丘1区福祉部	3月13日
山田区地域福祉推進委員会	3月14日～3月15日

平成30年度コミュニケーションマージャン貸出状況…延べ25地区

15 (仮称) 認知症地域見守り訓練

第2期大野城市地域福祉活動における市民活動推進計画

4地区コミュニティ運営協議会連絡会議に訓練実施地区の選定を依頼したが、まず、認知症の理解を広げたいとの意見から訓練はその後検討することになった。平成30年度は北地区コミュニティで認知症サポーター養成講座や、糸島市の認知症カフェ『み～んなのオレンヂカフェ』を訪問し、南地区コミュニティでは青パトに乗務する職員に対して、認知症講座を実施し、認知症に対する理解を深める活動がおこなわれた。やすらぎのまち市民協議会で、訓練実施方法はコミュニティ単位でやる必要はない、福祉教育推進校とコラボできないか、等のご意見をいただいたので、次年度はコミュニティ単位での実施にこだわるのではなく、本訓練が始まった当初のように区単位で訓練をおこなうなど、訓練の実施方法を検討する必要がある。

5. 広報関係

市内を中心とした幅広い福祉情報を掲載した「社協だより(愛称:ふくしんば)」を年6回発行している。また、ホームページで被災地支援情報やボランティアエントリーシステム等の情報を定期的に掲載し、フェイスブックとツイッターを活用した情報発信を随時行った。

平成30年度実績

① 「社協だより」の発行



主旨：広く地域の福祉情報を収集し、読みやすく、親しみやすい紙面づくりに努めている。

発行号：169号・170号・171号・172号・173号・174号

② ホームページ等による情報発信

社協活動、全社協 被災地支援・災害ボランティア情報をもとに被災地支援情報等を随時更新し、発信をしている。

③ ツイッター、フェイスブックによる情報発信

ツイッターとフェイスブックを活用しながら、社協の活動や災害ボランティア情報等を積極的に発信し、タイムリーな情報発信を行っている。

6. 法外援助対策事業



火災等の被災者に対し、組布団や見舞金を支給。大雨や台風接近など事前に情報を察知した時は、貸し布団業者より貸ふとんを複数組借りに行き、これまでに公民館等に避難されたことがある地域と連絡を取り、貸し布団の提供を行った。

平成30年度実績

◇平成30年西日本豪雨災害

台風7号の接近により、避難準備・高齢者等避難開始が発令された。区からの依頼により貸しふとんの支援を行った。

平成30年7月5日～7月7日 平野台区（貸しふとん4組）

7月7日～7月9日 中区（貸しふとん25組、タオルケット、肌布団）

◇火災による避難

平成30年12月24日 下大利区にて2世帯(2人分)の布団と見舞金を支給

7. 身体障がい者福祉対策事業



身体障がい者福祉協会や障がい者施設団体連絡協議会等、当事者組織と連携を図りながら、ハンディを持つ人たちの社会参加を支援することを目的とし、各事業に取り組んでいる。

平成30年度実績

① 翔んでふれあって2018（大野城市障がい者大運動会）

期日：平成30年10月21日(日)
場所：北コミュニティセンター ふれあいホール
参加者：275名
主催：大野城市身体障がい者福祉協会、大野城市手をつなぐ育成会、大野城市母子寡婦福祉会
大野城市障がい者施設団体連絡協議会
指導：大野城市福祉課・スポーツ課
競技進行：大野城市スポーツ推進委員会

② 重度障がい者社会参加事業

期日：平成30年9月20日(木)
場所：熊本県・七城メロンドーム など(交通手段:リフトカー2台)
参加者：10名(内職員2名、実習生2名)

③ 大野城市身体障がい者福祉協会への支援

共同募金配分金をとおし、その活動の助成を行なうとともに、事業の実施にあたりその活動の支援をおこなった。

④ 障がい者施設団体連絡協議会への支援

- ◇毎週土曜日に大野城まどかぴあで開設される、ほっとすぽっと「サンサン」の支援。
- ◇総合福祉センター1階、交流スペース「ほっとぴあ」の運営。(平成30年8月で終了)販売、展示のみ継続。
- ◇運営委員会の機能強化を図るため、毎月1回の定例会を開催し、研修会や各団体・施設との意見交換会などを行う。
- ◇こころのふるさと館の新規オープンに伴い、館内ここふるショップにおいて平成30年7月21日(土)から授産品の販売を始めた。
- ◇先進地視察研修 日時:平成30年10月2日(火) 行先:社会福祉法人翼会(嘉麻市)

8. 知的障がい児者福祉対策事業



ふれあいの旅は、ハンディのある人とボランティアと1泊2日を過ごす事業として、36回目を終了した。最近の傾向としては、放課後等デイサービス事業を行う事業所が急増し、そうした事業所等に通う子どもたちが増えたためか、夏休みに実施している、ハンディのある小中学生を対象とした「小中ふれあいの旅」は、子どもたちの参加が減少傾向にある。その一方高校生以上を対象とした秋のふれあいの旅は、小中ふれあいの旅の参加者が高校生になったこともあわせて、障がいを持つ参加者が増え、平成30年度も申し込み定員の枠に入れずキャンセル待ちの状態となり、参加希望者のニーズにどのように応えていくのかが課題となっている。

平成30年度実績

① ふれあいの旅2018（第36回）

期　　日	： 平成30年10月27日(土)～28日(日)
場　　所	： 大分県別府市方面
参　加　者	： 103名(参加者43名、ボランティア51名、職員6名、看護師2名、添乗員1名)
協　　力	： 大野城市ボランティア連絡協議会
後　　援	： 大野城市手をつなぐ育成会

② 小中ふれあいの旅2018

期　　日	： 平成30年8月25日(土)～26日(日)
場　　所	： 海響館(下関市)・到津の森公園・いのちのたび博物館(北九州市)
参　加　者	： 35名(参加者12名、ボランティア18名、職員5名)

③ 大野城市手をつなぐ育成会への助成

共同募金配分金をとおし、その活動の助成を行っている。平成30年度は、全国手をつなぐ育成会連合会の地域育成会活性化事業の助成を受け、事業実施に向けた支援等を行った。

期　　日	： 平成30年10月13日(日)
場　　所	： 総合福祉センター3階大会議室
内　　容	： 運動・スポーツを通じ発達障がい児の発達保障 ～コオーディネーション理論から学ぶ～
講　　師	： 徳島大学名誉教授 荒木 英夫 氏

9. 高齢者福祉対策事業



核家族化とあわせて、急速にすすむ高齢化により、高齢者世帯の抱える困難な問題や団塊の世代が迎える定年後の地域社会への参加などが課題である。

平成30年度実績

① 大野城市シニアクラブ連合会に対する活動援助

シニアクラブ連合会では、活力ある長寿社会の実現に向けて、生きがいと健康づくりや長年培ってきた知識、経験を地域社会のために生かす取り組みや、通学路における小学生の見守り活動等を展開されている。

職員派遣

期 日： 平成30年5月24日（木）～25日（金）

場 所： 熊本県南関町ホテルセキア

内 容： 理事等研修会

期 日： 平成30年5月22日（火）

会 場： まどかパーク

内 容： 第27回大野城市シニアクラブ連合会ペタンク大会

期 日： 平成30年6月12日（火）

場 所： まどかパーク

内 容： 第27回大野城市シニアクラブ連合会グラウンドゴルフ大会

期 日： 平成30年10月2日（火）

場 所： 大野城市総合グラウンド

内 容： 第28回大野城市シニアクラブ連合会グランドゴルフ大会

② 大野城市シニアクラブ連合会への助成

共同募金配分金をとおし、その活動の助成を行なっている。会員相互の健康保持のための活動や健康医療講演会、訪問見守り活動などがなされている。

10. 子育て支援事業



大野城市に転入して間もない親子や、子育てに悩む若い親の支援、保育所への遊具設置など、親と子どもたちが安心して遊べる場を提供し、子育てしやすい環境づくりを図っている。

平成30年度実績

① 子育て支援事業

支援内容：総合福祉センター及び福祉バス利用料免除や遊具の貸出
子育てサークル活動費補助(4サークル)

登録サークル：5サークル(会員数 79名)

◇登録子育てサークル一覧

サークル名	主な開催場所	活動時間	会員数
Sunny!!	総合福祉センター	不定期(主に土日祝開催)	4名
ぶらりいおん	中央コミュニティ	毎週火曜日(第3火曜休)	15名
子連れヨガ	乙金公民館	毎月第2・4金曜日	20名
こあらぐらぶ	乙金公民館	毎月第1金曜日	19名
ままいる	総合福祉センター	毎月第1・3金曜日	21名

② 「子育てサークルだより」の発行

主旨：身近な子育て情報を発信し、安心して子育てできる環境を目指しています。

発行号：63号・64号・65号・66号・67号・68号

配付数：606枚

配付先：

登録サークル 5団体	コミュニティセンター	市役所 こども未来課
福祉委員	アスカーラ(まどかぴあ)	市役所 こども健康課
コミュニティ福祉部会連絡協議会	ファミリー交流センター	市役所 子育て支援課

II 一事業・活動

◇公民館で開催されている子育てサロン

	月曜日	火曜日	水曜日	木曜日	金曜日
第1週			あいあいくらぶ (牛 頸) ぶんぶん (白木原)	わかばっ子 (乙金東) だっこちゃん広場 (南ヶ丘1区) おひさま広場 (釜 蓋・井の口)	カンガルー広場 (下筒井) こあらくらぶ (乙 金)
第2週	すぐすぐらぶ (若 草) 子育て支援教室 (東大利)		ぶんぶん (白木原) 親子ふれあい広場 (仲 島)		子育てサロン きらきら広場 (下大利)
第3週		子育て にこにこサロン (山 田)	ぶんぶん (白木原) ひよこっこ教室 (中)	だっこちゃん広場 (南ヶ丘1区) さくらんぼサロン (雑餉隈町) おひさま広場 (釜 蓋・井の口)	カンガルー広場 (下筒井) ぶちかごめ (乙 金) うさぎっこ (平野台)
第4週	おひさまサロン (瓦 田)		チューリップサロン (上筒井) あすなろサロン (上大利) 親子ふれあい広場 (仲 島) こあら広場 (南ヶ丘2区)		しゃべりば ぼこぼこ (月の浦) 子育て支援サロン らっこ (栄 町)
毎週	グーチョキパー (つつじヶ丘)			はたづめっ子 (畠 詰)	

◇たけのこ支援主催のサロン

大野城市へ転入して来る子育て中の親子や他の子育てサークルに登録していない親子に対して、同じ仲間との交流を通して孤立を防ぎ、安心して子育てができる環境と子育てに関する情報提供の場を目的としてその活動が行なわれている。

内 容	開 催 期 日	会 場	参 加 者
子育てサロン	平成 30 年 4 月 4 日(水)	総合福祉センター多目的室	5 組
子育てサロン	平成 30 年 6 月 6 日(水)	総合福祉センター多目的室	4 組
七 タ 会	平成 30 年 7 月 4 日(水)	総合福祉センター大会議室	17 組
子育てサロン	平成 30 年 8 月 1 日(水)	総合福祉センター多目的室	3 組
講 演 会	平成 30 年 9 月 5 日(水)	総合福祉センター多目的室	15 組
子育てサロン	平成 30 年 11 月 7 日(水)	総合福祉センター多目的室	3 組
クリスマス会	平成 30 年 12 月 12 日(水)	総合福祉センター大会議室	23 組
子育てサロン	平成 31 年 2 月 6 日(水)	総合福祉センター多目的室	3 組

③ 保育所に遊具等の助成【やさしい保育園】

共同募金配分金より毎年1ヶ所私立保育所へ遊具等の助成を(290,548円)行なっている。

物 品： 食器洗浄機

④ 遊具の貸出状況

子どもたちの健やかな成長を支えること、また、地域での遊びの機会を支援することを目的に、社会福祉協議会に登録している子育てサークル及び各区公民館で開催される子育てサロンに遊具の貸出しを行っている。

○平成30年度貸出延件数 76件(前年比89%)

○貸出の多い人気の遊具

1. わくわくハウス(大) (37回)
2. ツリースロープ (33回)
3. ソフトブロック (26回)
4. わくわくハウス(小) (23回)
4. ままごとキッチン (23回)

11. 児童青少年福祉対策事業



平成30度実績

① 福祉教育教材「ともに生きる」活用推進

対象：市内小学4年生全員、福祉教育推進校(大野北小3年生・4年生)、大野城市教育委員会
配布数：1300部

前年は1校(167部)

併せて、さらなる普及を図るため、教職員を対象に『福祉教育教材「ともに生きる」活用の手引き』を配布した。

② 大野城市子ども会育成会連絡協議会への助成

共同募金配分金をとおして、子ども会育成会では、「子どもが主役だ・地域で育てよう子どもたち」を主眼に、子どもの健全育成、地域(各单位子ども会)の発展に向けて、活動が展開されている。

③ 保護司会への助成

共同募金配分金をとおして、保護司会では保護司信条である社会奉仕の精神をもって、過ちに陥った人たちの更生に尽くされる活動を行われている。

12. 福祉教育



① 小学校等への福祉教育

市内の小中学校、学童から総合的な学習の時間等を利用した福祉教育の依頼があった時に、職員やボランティア、障がい者など当事者の方と一緒に子どもたちに福祉やボランティアについて学習し、子どもたちひとり一人が“自分たちにできることは何か”を考えるきっかけにつながっている。

開催日	学校名・学年	内 容	支援者
平成30年5月15日(火)	大城小学校4年 80名	車いす体験	福祉推進委員2名 社協3名
平成30年5月18日(金)	大城小学校4年 80名	手話体験	聴覚障がい者1名 ボランティア3名 社協2名
平成30年6月12日(火)	大野小学校4年 160名	おもちゃ病院について	ボランティア1名 社協2名
平成30年6月26日(火)	大城小学校4年 80名	アイマスク体験 当事者との交流(視覚障がい)	視覚障がい者1名 福祉委員2名 社協2名

平成30年9月5日(水)	大利小学校4年 140名	当事者との交流(視覚障がい)	社協2名
平成30年9月11日(火)	大野小学校4年 153名	アイマスク体験	民生委員1名 福祉委員2名 社協3名 実習生1名
平成30年9月13日(木)	大野小学校4年 153名	当事者との交流(視覚障がい)	社協2名 実習生2名
平成30年9月18日(火)	大利小学校4年 140名	アイマスク体験	民生委員2名 福祉委員1名 社協2名
平成30年9月21日(金)	大野南小学校4年 154名	当事者との交流(視覚障がい)	視覚障がい者1名 社協2名
平成30年9月25日(火)	大利小学校4年 145名	車いす体験 当事者との交流(身体障がい)	身体障がい者1名 民生委員5名 主任児童委員1名 社協3名
平成30年9月27日(木)	大野南小学校4年 154名	アイマスク体験	民生委員2名 福祉委員2名 社協3名
平成30年10月2日(火)	大利小学校4年 145名	ボランティア活動について (点字・手話・聴覚)	手話1名 あゆみの会 文鳥2名 社協2名
平成30年10月4日(木)	大城小学校3年 90名	高齢者を支える地域の取り組みとユニバーサルデザインについて	民生委員4名 福祉委員2名 社協2名
平成30年10月5日(金)	大野南小学校4年 154名	点字	あゆみの会
平成30年10月5日(金)	大野東小学校3年 110名	車いす体験	社協3名
平成30年10月11日(木)	大野南小学校4年 154名	車いす体験 当事者との交流(身体障がい)	身体障がい者1名 社協4名
平成30年10月12日(金)	下大利小学校3年 47名	第1回まち探検バリアフリーマップ作り(車いす体験・アイマスク体験)	あけばの園2名 ひょうたん島2名 まどか園2名 民生委員8名 福祉委員2名 社協3名
平成30年10月16日(火)	御笠の森小学校 4年 60名	アイマスク体験	民生委員2名 福祉委員4名 保護者5名 社協2名
平成30年10月18日(木)	御笠の森小学校 4年 60名	手話	手話の会4名 聴覚障がい者1名 社協2名
平成30年10月19日(金)	御笠の森小学校 4年 60名	当事者との交流(視覚障がい)	視覚障がい者1名 社協2名

II 一事業・活動

平成30年10月30日(火)	平野小学校3年 94名	当事者との交流(視覚障がい)	視覚障がい者1名 社協2名
平成30年10月31日(水)	平野小学校3年 94名	アイマスク体験	福祉委員2名 社協3名
平成30年11月6日(火)	大野東小学校3年 110名	当事者との交流(視覚障がい)	視覚障がい者1名 社協1名
平成30年11月6日(火)	平野小学校3年 94名	車いす体験 当事者との交流(身体障がい者)	身体障がい者1名 社協3名
平成30年11月13日(火)	大野東小学校3年 110名	アイマスク体験	民生委員3名 福祉委員5名 社協3名
平成30年11月14日(水)	下大利小学校3年 47名	第2回まち探検バリアフリーマップ作り(車いす体験・アイマスク体験)	身体障がい者1名 民生委員7名 福祉委員1名 社協3名
平成30年11月19日(月)	大野南小学校4年 154名	手話	手話の会4名 聴覚障がい者1名 社協2名
平成30年12月4日(火)	月の浦小学校3年 101名	車いす体験、リフトカー体験	身体障がい者1名 福祉委員1名 福祉推進員6名 社協4名
平成30年12月5日(水)	月の浦小学校5年 78名	障がい者スポーツ「ボッチャ体験」	身体障がい者1名 社協2名
平成31年1月23日(水)	月の浦小学校3年 101名	手話	手話の会4名 聴覚障がい者1名 社協2名
平成31年1月28日(月)	月の浦小学校3年 101名	当事者との交流(視覚障がい者)	視覚障がい者1名 社協2名
平成31年2月15日(金)	大野小学校4年 153名	ボランティアセンター見学	社協4名

合計回数 32回 対象延児童数 3,556名

前年比 128%

126%

② 福祉教育基礎研修会 第2期大野城市地域福祉活動における市民活動推進計画

市内の小中学校の教職員を対象として、子どもたちの主体的な学びにつながる福祉教育とは何か、またその在り方を学ぶとともに、授業実践に活かすことを目的とした研修会を開催した。

期　　日　： 平成30年7月30日(月)

場　　所　： まどかぴあ多目的ホール

参　加　者　： 115名(前年比 230%)

(内訳) 教職員 47名 民生委員児童委員 41名 福祉委員 21名

ゲストティーチャー 2名 その他 4名

内　　容　： 講　演「学校・地域・家庭の協働による地域共生社会の実現をめざした福祉教育」

講　師　大阪教育大学 教育学部 教育協働学科 教授 新崎 国広 氏

○ 第1期福祉教育推進校「大野小学校実践報告」

共　　催　： 大野城市教育委員会

◎[福祉教育基礎研修会参加者アンケート調査を実施]

③ 大野城市福祉教育推進校の共同事業 第2期大野城市地域福祉活動における市民活動推進計画

市内の全10小学校の中から福祉教育推進校となる1校を教育委員会・校長会で選定していくいただき、1期2年として福祉教育教材「ともに生きる」を活用したプログラムを学校・市・社協の三者で取り組んでいる。

平成30年度からは、大野北小学校の3年生・4年生の2学年を対象に、福祉教育プログラムを実施した。

◇3年生(児童数:104名)

- | | |
|----------------|--|
| 平成30年 6月12日(火) | 「公民館のおじさんありがとう」 講師:嶋野 久 氏(山田区長) |
| 平成30年 6月27日(水) | 「高齢者の持つ知恵や技能」 講師:杉 正利 氏(おもちゃ病院ドクター) |
| 平成30年 9月12日(水) | 「障がいについて」 講師:社会福祉協議会 地域課 課長 馬場 徹 |
| 平成30年 9月19日(水) | アイマスク体験 |
| 平成30年 9月26日(水) | 「視覚障がいのある人の社会生活」 講師:南里 英治 氏 |
| 平成30年10月 3日(水) | 車いす体験と介護の仕事について
講師:社会福祉協議会 介護サービス課 課長 福島 愛砂 |
| 平成30年11月29日(木) | 障がい者スポーツ「車いすバスケット体験」
講師:福澤 翔 選手(福岡 Breez所属) |

◇4年生(児童数:125名)

- | | |
|----------------|--|
| 平成30年 9月14日(金) | アイマスク体験 |
| 平成30年 9月26日(水) | 「視覚障がいのある人の社会生活」 講師:南里 英治 氏 |
| 平成30年 9月28日(金) | 車いす体験と介護の仕事について
講師:社会福祉協議会 介護サービス課 課長 福島 愛砂 |
| 平成30年11月12日(月) | バリアフリー探検(まどかぴあ・総合福祉センター見学) |
| 平成31年 1月24日(木) | 「ボランティア活動ってなんだろう?」
講師:マジックグループファンタジア 愛甲 忠一 氏
社会福祉協議会 地域課 主事 益坂 和 |

13. 父母子福祉対策事業



ひとり親家庭の相談に対する支援(母子会会議での助言や事業等)を行なっている。

平成30度実績

① 大野城市母子寡婦福祉会への支援

共同募金配分金を活用して、大野城市母子寡婦福祉会では、日常における母子家庭の生活の安定等を目指して、自立促進につながる総合的なひとり親家庭の施策を充実するための活動が展開されている。

福岡県(受託:福岡県母子寡婦連合会)学習支援ボランティア事業の支援

14. 在宅介護者支援事業



在宅で高齢者等の介護をされている家族を対象に、日帰りのリフレッシュ事業などを開催し、介護者同士のつながりをつくることなどを目的として事業を実施している。

平成30年度実績

① 在宅介護者のつどい

内 容：市内で在宅介護をしている方等を対象とする。日帰り旅行を通して、意見交換を行う為の交流の場を作り、それぞれの気分転換を図り、今後の在宅介護の在り方について考えていただいた。
また、社協のケアマネによる相談支援をおこなった。

期 日：平成31年3月7日(木)

場 所：大分県日田市(豆田町)・福岡県朝倉市(原鶴温泉)

参加者：11名(内、初参加者2名)

15. 平成30年度共同募金運動



平成30年度実績

多くの方々にご協力頂いた共同募金は、地域の福祉活動費や福祉団体への助成、社会福祉協議会が行なう様々な福祉事業に活かされている。

① 共同募金啓発チラシデザイン募集

内 容：啓発用チラシのデザインを、小学校4年生～6年生から募集し、入選作品を社協だより(ふくしんぼ 171号)の折込みチラシとして全戸に配布。今回、平野小、大利小、大野東小の児童を対象として募集し、298作品の協力を頂いた。入選作品は、共同募金運動期間中に総合福祉センターや各コミュニティセンターに展示した。

応募件数：298 件

最優秀作品：大利小学校 5年 上田紗陽花さん

② 共同募金運動キャッチフレーズ（標語）募集

内 容：一般市民より大野城市独自の募金運動のキャッチフレーズ(標語)を募集し、啓発活動に活用した。

平成30年度キャッチフレーズ：「届けよう みんなの気持ちと 赤い羽根」（岡部一輝さんの作品）

応募件数：9件

(単位：円)

	平成30年度		平成29年度	
	目安額	実績額	目安額	実績額
戸別募金	14,509,000	13,827,320	15,127,000	14,365,868
企業募金	2,618,700	2,537,709	2,611,000	2,592,284
街頭募金	306,400	308,792	390,000	303,365
職域団体募金	701,500	708,515	775,000	694,566
バッジ等募金	539,700	545,994	598,000	534,369
個人募金	365,700	293,891	354,000	362,121
イベント募金	16,400	9,743	92,000	16,217
自販機売上募金	939,300	569,092	585,000	929,984
募金箱設置協力	323,300	319,314	352,000	320,067
寄付つき商品による募金	77,300	74,860	56,000	76,532
合 計	20,397,300	19,195,230	20,940,000	20,195,373

③ 寄付つき商品

大野城市内の事業所に協力いただき、共同募金（寄付）商品の開発を行い、推進している。

商 品：かりんとう
協力企業：有限会社天龍堂製菓（大野城市仲畑）
募 金 額：74,860円(3,940個)

④ 支会理事会開催状況（理事総数 16名）

開催年月日		議 題		出席者 13名	
平成30年	9月3日	第1回	第1号議案		
			福岡県共同募金会大野城市支会支会長の互選について		
			第2号議案		
			福岡県共同募金会大野城市支会副支会長の互選について		
		第3号議案	平成30年度共同募金運動実施計画案について		
		第4号議案	平成30年度大野城市共同募金運動キャッチフレーズ選考について		

II 一事業・活動

平成 31 年	3月22日	第2回	第5号議案	平成31年度福岡県共同募金会大野城市支会資金収支予算書(案)について	14名
			第6号議案	共同募金運動におけるキャッチフレーズ募集の廃止について	

5 平成30年度赤い羽根共同募金のつどい in おおのじょう

期 日 : 平成30年9月8日(土)
会 場 : 大野城市総合福祉センター3階大会議室
参 加 者 : 92人

企業募金推進打合せ会議

これまでコミュニティごとに開催していた「コミュニティ企業募金推進会議」を平成30年度より各区ごとの打合せ会議に変更した。事前に各区に聞き取りを行い、会議の形態や開催の有無を確認すると、事務局との簡単な打ち合わせを希望された地区が多く、事業所の数や各推進状況によっては、打合せがなかった地区も8区あった。

南コミュニティ : 5区 中央コミュニティ : 5区
東コミュニティ : 4区 北コミュニティ : 5区

16. 福祉機器貸出事業



在宅で生活するために車いすや電動ベッドなどを必要とする人で、公的制度を利用する事ができない場合、短期間の貸出を行っている。

平成30年度実績

貸出延件数 : 車いす(135件)、電動ベッド(3件)

17. 福祉機器リサイクル事業

不要になった電動ベッドや車いすなどの福祉機器を必要としている方に斡旋し、まだ利用可能な福祉機器を活かすことを目的としている。

平成30年度実績

登録件数 : 3件(簡易ベッド2、車いす1)
斡旋件数 : 2件(簡易ベッド2)

18. 移送サービス事業

著しく歩行が困難で車椅子等を利用している人や、寝たきりの状態で既存の交通機関を利用することが困難な人に対してリフトカーを運行し、障がい者や高齢者の社会参加の1つの手段として活用することで、福祉の増進を図ることを目的としている。ただ課題としては現在2台の車両で運行しているが、うち1台が走行距離が約20万キロになっており、新しい車両の導入を試み平成30年度は日本財團等いくつかの企業等へ車両購入補助申請を行ったものの採用されず、今後も引き続き車両購入の補助申請を行っていく。

平成30年度実績

利用登録者数：41名（前年比91%）

移送サービス事業実績

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計	平均
稼働日数(日)	18	17	13	13	13	13	16	19	19	14	18	20	193	16
利用延人数(人)	29	27	19	23	20	20	25	32	27	24	33	28	309	26

- ◎ [移送サービス利用者アンケート調査を実施]

19. ハンディキャップ貸出事業



車いすを利用している人や車いすを利用しないと外出が困難な人に、車いすに乗ったまま乗車できる軽車両（ハンディキャップ）の貸し出しを行う事業で、ハンディキャップを利用する事で障がい者や高齢者の外出を容易にし、家族の負担を軽減することを目的としている。また、運転者がいない場合、ボランティアセンターにおいて運転ボランティアのコーディネートを行っている。最近の傾向としては、家族で運転をするケースがほとんどになっている。

平成30年度実績

利用登録者数:30名（前年比73%）

運転ボランティア登録者数：7名

ハンディキャップ貸出事業実績

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計	平均
稼動回数	19	15	14	17	21	19	22	11	9	8	7	14	176	14.7
運転ボランティア稼働人数	3	3	4	3	5	5	6	1	1	1	1	1	34	2.8
新規登録者件数	24	1	0	0	0	2	1	1	0	0	0	0	29	2.4

20. 福祉食事サービス(市受託事業)

在宅日常生活支援事業として、ひとり暮らしの高齢者、障がいを持った方などに1年365日食事(昼・夕)を宅配しながら安否確認・見守りを行っている。この事業では、ボランティアグループ「ききょう」の作成による絵手紙を毎月添付している。

平成30年度実績

利用者数	：	月平均 78名
延食数	：	24,338食
延利用者数	：	939名(前年比115%)

※福祉食事サービス利用状況の詳細については、巻末資料「別表6 平成30年度福祉食事サービス利用状況」P65 参照

21. 福祉バス運行事業

福祉バス利用により、地域住民の福祉活動を増進させるため、福祉バス利用申し込み受付と運行管理を行なう。福祉活動を目的とした視察研修等に利用されている。運行回数は、平成29年度とほとんど変わらなかつた。

平成30年度実績

福祉バス運行状況 乗車27人乗り(マイクロバス)

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計	平均
運行回数(回)	6	15	20	10	7	16	23	27	3	1	8	13	149	12
延利用者数(人)	130	322	385	189	108	317	485	588	55	12	135	239	2,726	227

*利用団体状況	(1) 福祉推進委員会、コミュニティ福祉部会、区長会、民児協	70回
	(2) 社協が事業を行う上で必要とする場合	12回
	(3) 行政が事業を行う上で必要とする場合	10回
	(4) 社会福祉団体が福祉活動を行う上で必要とする場合	19回
	(5) 福祉に寄与する団体等で使用目的、及びその活動の内容を勘案し会長が必要と認めた場合	38回

22. 生活福祉資金貸付事業(県社協受託事業)

教育支援費は日本学生支援機構奨学金の拡充等に伴い、他制度につなぐことを目的として原則6ヶ月以内の申請となっており、教育支援資金の説明とともに他制度の確認も行うようにした。

総合支援資金、緊急小口資金の貸付は貸付希望者の負担軽減や支援の方向性を明確にするためにも自立相談支援機関との連携に努めたい。

平成30年度実績

◇生活福祉資金相談・貸付状況

(※相談件数は初回相談時を標記 ※決定件数は平成29年度申込分を含む)

種別／内容	相談件数	申込件数	決定件数	貸付額
総合支援資金	生活支援費	4	3	4 1,200,000円
	住宅入居費	0	0	0円
	一時生活再建費	1	1	119,000円
教育支援資金	就学支度費	17	12	4,904,000円
	教育支援費	21	12	2,938,000円
福祉資金	生業	1	0	0円
	技能修得	2	0	0円
	葬祭	2	0	0円
	転宅	9	1	419,000円
	福祉用具購入	0	0	0円
	障がい者自動車購入	2	2	5,000,000円
	住宅改修	2	1	1,000,000円
	療養・介護	3	2	929,000円
	災害援護・国年・エ アコン・必需品	5	2	211,000円
	緊急小口資金	47	38	1,675,000円
	不動産担保型生活資金	6	0	0円
その他	20	0	0	0円
合計	※142	74	74	18,395,000円

(前年比80%)

◇臨時特例つなぎ資金相談・貸付状況

種別／内容	相談件数	申込件数	決定件数	貸付額
臨時特例つなぎ資金	1	0	0	0円
合計	1	0	0	0円

23. 大野城市生活支援体制整備事業（市受託事業）

平成 28 年に設置した生活支援体制整備研究会で協議を重ね続けた結果、市全域を担当する第1層協議体（通称：もやいネット大野城）が平成 30 年4月に設置された。また第2層協議体については、もやいネット大野城の提案に沿い、まずは南コミュニティをモデル地区とし、第2層協議体の設置に向けて南地区コミュニティ運営協議会等との協議を進め、南地区コミュニティでの3回にわたるまちづくり計画ワークショップを経て、南コミュニティに第2層協議体が設置されることとなった。

また、平成 30 年 3 月に作成した社会資源情報冊子「大野城市暮らしのもやい帳」は、社会福祉協議会の他、基幹型地域包括支援センターと4地区の地域包括支援センターに配置されている生活支援コーディネーターで情報を更新し、9月に 2,000 部を発行した。関係機関に配布活用依頼し、その後シニアクラブやケアマネジャーなどの協力を頂きながら、特に情報が必要な高齢者等にもやい帳の情報の周知を進めていった。

① 大野城市生活支援体制整備第1層協議体（もやいネット大野城）の開催

大野城市が目指す地域の姿を共有し、地域包括ケアシステムについての啓発活動や、多様な日常生活の支援体制の整備並びにその充実及び強化を図るために、平成 30 年4月に設置された第1層協議体を以下のとおり開催した。

開催回数：3回

大野城市生活支援体制整備第1層協議体委員：14名

- ・学識経験者(1名)・区長(1名)・民生委員(1名)・福祉委員(1名)・介護保険事業者(1名)
- ・社会福祉法人(施設)(1名)・シニアクラブ(1名)・ボランティア連絡協議会(1名)
- ・シルバー人材センター(1名)・医療関係者(1名)・企業(1名)・基幹型地域包括支援センター(2名)
- ・南地区地域包括支援センター(1名)

内容：生活体制整備第1層及び第2層協議体について、第2層協議体設置に向けた今後の実施計画、大野城市暮らしのもやい帳の発行と更新について

開催日	議題
第1回 平成30年 6月28日(木)	<ul style="list-style-type: none"> ・委嘱状交付、正・副委員長の選任 ・生活支援体制整備第1層及び第2層協議体について ・大野城市暮らしのもやい帳について
第2回 平成30年 9月27日(木)	<ul style="list-style-type: none"> ・第2層協議体設置に向けた経過報告、今後の実施計画 ・大野城市暮らしのもやい帳の発行と更新について
第3回 平成31年 2月19日(火)	<ul style="list-style-type: none"> ・モデル地区(南コミュニティ)の経過報告と第2層協議体の設置について ・4地区コミュニティの現状について ・大野城市暮らしのもやい帳のアンケート調査の結果報告 ・もやいネット大野城の開催について(平成31年度)

② 第2層協議体の設置に向けて NEW

もやいネット大野城の提案に沿い、南コミュニティをモデル地区とし、第2層協議体の設置に向けて南地区コミュニティ運営協議会との協議を重ね、南地区コミュニティでの3回にわたるまちづくり計画ワークショップを経て、南コミュニティに第2層協議体が設置されることとなった。

③ 生活支援コーディネーター連絡会の開催

地域の社会資源調査を行い、社会資源の情報共有や各コミュニティの福祉活動に関する情報交換を行っている。〈生活支援コーディネーターのことを「SC」と呼んでいます〉

開催回数：12回（月1回）

出席者：基幹型地域包括支援センターSC、4地区地域包括支援センターSC、社協SC、社協担当者

内 容：市内の社会資源調査及び社会資源の整理、大野城市暮らしのもやい帳の更新・初版発行・配布について、市民啓発セミナーの振り返り、SCハンドブックの更新

④ 社会資源冊子「大野城市暮らしのもやい帳」の作成 NEW

平成30年3月に作成した「大野城市暮らしのもやい帳」は、生活支援コーディネーターが地域にある施設や団体、公民館活動など様々な社会資源情報を更新し、9月に初版2,000部を発行した。

ケアマネジャーや民生委員児童委員等の福祉関係者を中心に配布し、引き続き、社会資源情報の更新をしながら、冊子の活用方法等について市と協議し、第1層協議体「もやいネット大野城」に諮りながら検討する。

また、初版を配布した後、実際にもやい帳の配布活用にご協力を頂いた方にアンケート調査を実施した。

24. 被災地支援活動

大野城市社会福祉協議会では、平成23年3月11日に発生した東日本大震災にて被災し、地震、津波、原発事故、風評の被害がある福島県南相馬市を継続的に支援している。“忘れない”を合言葉に寄り添い、支援を続けている。

平成30年度実績



① 復興応援の旅

東日本大震災の発生以降、「東北応援の旅」を5回開催してきた、平成29年度は、福岡県と隣接する熊本を応援することを目的に、「熊本復興応援の旅」として開催した。平成30年度はこれまでの復興の旅に参加した方へアンケート調査を行い、時期的なことの調整が難しいこと等で参加できない方が多かったため、やむなく今年度は中止となった。

一方では平成30年度は西日本大雨災害をはじめとする、大阪地震や北海道地震など、支援を必要とする地域が全国規模に及ぶことから、義援金のお願いを各公民館に依頼し、協力を頂きながら支援を行っている。

② 被災地応援「福島県応援ショップ」の運営支援

総合福祉センター1階ロビーにて、「福島県応援ショップ」として福島県南相馬市の特産品等を中心に販売を行っている。購入を通じた支援を行いながら、「つながり」を大切にし、息の長い応援を継続する。

③ 被災地支援義援金

市民の皆さんから預かりした多額の義援金は、被災地に設置された義援金配分委員会を通じて被災者へ分配される予定である。

平成28年熊本地震	4,802円
平成29年7月福岡県大雨災害	236,374円
平成30年大阪北部地震	6,632円
平成30年7月豪雨災害(1府9県)	219,577円
平成30年7月豪雨災害(福岡県)	8,000円
平成30年7月広島県豪雨災害	32,100円
平成30年北海道胆振東部地震義	31,702円
合計	530,310円

25. 社会福祉法人のネットワークの構築

社会福祉法の改正により社会福祉法人は「地域における公益的な取組」が責務として規定されたが、単独の法人として、地域公益事業をどう実施するか等、その模索が続いている現状。社会福祉法人・福祉施設においては、それぞれに専門性を有しており、それをどう地域へ活かすかなど複数の法人による情報交換の場と法人同士の「顔が見える関係」をつくるため、大野城市における社会福祉法人の連絡会の組織化(ネットワークの構築)を行った。今後、分野が違う社会福祉法人相互の連携・協働の取組を進めていく。

平成30年度実績

① 社会福祉法人ネットワーク会議の開催

大野城市社会福祉法人連絡会の発足に向けて、会則案について協議を行った。この会議を通して、今後大野城市社会福祉法人連絡会が、代表者の会議と実務者の会議で構成されることや会費についての認識を共有した。

日 時： 平成30年4月25日（水）15：00～

会 場： 大野城市総合福祉センター

参加者： 15法人18名、福祉課1名、社協8名

内 容： 大野城市社会福祉法人連絡会発足に向けて
・会則（案）について協議

② 社会福祉法人設立総会開催

会長を高齢者施設、副会長を障害者施設（仁風会含む）、監事を保育園にお願いし、会場内で法人の種類ごとに3か所に分かれ、話し合う時間を設けた。事務局は大野城市社会福祉協議会が担う。これから大野市社会福祉法人連絡会として何ができるかを考えていく。

日 時： 平成30年7月31日（水）16：00～

会 場： 大野城市総合福祉センター

参加者： 大野城市長、県社協地域福祉部長、13法人20名、福祉課1名、社協6名

③ 社会福祉法人連絡会連絡会議（実務者会議）の開催

これから連絡会の活動について、2つのグループに分かれて意見交換を行った。そこから今後の目標を考える中で、大野市の福祉課題に対応するためには、まず施設同士の特徴や強みを知る必要があることがわかった。そこで、フェイスシートを作成し、次回の実務者会議で共有を図る。

【第1回】

日 時： 平成30年9月13日（木）15：30～

会 場： 大野城市総合福祉センター

参加者： 11法人11名、社協4名

内 容： 今後の連絡会について協議

II－事業・活動

【第2回】

日 時：平成30年11月14日（水）15：00～

会 場：大野城市総合福祉センター

参加者：11法人11名、社協5名

内 容：各法人で作成したフェイスシートを基に参加者間で質疑応答をしながら、強みを確認し、シートに加筆修正を行う。また、大野城市におけるライフレスキュー事業の手順の共有や、市外の法人連絡会事務局と話し合う会議の内容について報告した。

【第3回】

日 時：平成31年2月15日（金）16：00～

会 場：大野城市総合福祉センター

参加者：9法人12名、社協6名

内 容：社会福祉法人マップに掲載する内容について協議する。

また、各法人の地域の取り組み一覧表と、今後の法人連絡会活動について確認する。

III. ボランティアセンター事業

ボランティア活動推進	38
声の広報	43

26. ボランティア活動推進

ボランティア活動に関する相談、ボランティアコーディネート件数ともに平成29年度より増えており、朝倉市を中心とした災害ボランティアやボランティア保険の相談が多くを占めている。ボランティアエントリーシステムについては、引き続きエントリーするプログラムの情報収集・開発の充実に努めなければならない。

平成30年度実績

① ボランティア活動相談・コーディネート状況

ボランティア活動に関する相談件数：183件

①活動希望、情報収集に関する相談件数：145件

②ボランティアニーズに関する相談件数：38件

ボランティアコーディネート件数：180件

コーディネートを行ったボランティア活動の主な内容

・高齢者施設等での活動

(マジック手品、音楽レクリエーション、歌、太鼓、フルート、バンド、三味線等)

・学童保育所での活動(マジック手品、バルーンアートボランティア、手話教室)

・ボランティアグループでの活動(おもちゃ病院、運転ボランティアむつわ)

・運転ボランティア 定例会 12回

・障がい児者とのふれあいの旅ボランティア

・ひとり親家庭学習支援ボランティア

・新規ボランティア団体登録

・地域子育てサロン

・子供会でのマジック

・公民館こども食堂のボランティア

・公民館での三味線

・病院でのバンド演奏

・高齢者施設に季節の絵をお届けするボランティア

・手話をしたいボランティアを会へ案内

・小学生による高齢者施設でのマジックなどのボランティア

・子どもの見守りボランティア

※ボランティア保険手続き 85件 (290名加入 ボランティア行事用保険除く)

② 配信システムによるボランティア情報等の提供

携帯電話やパソコンへの配信システムを構築(グループ別にて配信可)し、ボランティアセンター登録者や福祉委員の方々へ情報の提供を行っている。

登録者数:124名

III-ボランティアセンター事業

③ボランティアセンター運営委員会開催：4回

運営委員（4名）：民生委員経験者、ボランティア連絡協議会、障がい者施設団体連絡協議会、有識者各1名

開催年月日			議題	出席者
平成30年	4月26日	第1回	・ボランティアエントリーシステムについて ・おおのじょうボランティアのつどいについて ・災害ボランティアセンター設置・運営訓練について	4名
	6月27日	第2回	・ボランティアエントリーシステムについて ・災害ボランティアセンター設置・運営訓練について ・社協、ボラセンの周知について	4名
平成31年	1月7日	第3回	・ボランティアエントリーシステムについて ・おおのじょうボランティアのつどいについて ・ボランティアセンターのレイアウトについて	4名
	2月13日	第4回	・ボランティアエントリーシステムについて ・おおのじょうボランティアのつどいについて	4名

④ おおのじょうボランティアのつどい 第2期大野城市地域福祉活動における市民活動推進計画

ボランティアセンターを拠点に活動しているテーマ型ボランティアと、各地域で活動している地縁型ボランティアの他、一般のボランティアが一堂に会し、情報提供・情報交換、情報共有の充実を図るため、おおのじょうボランティアのつどいを開催した。地縁型ボランティアやテーマ型ボランティア、一般のボランティアの対話の場をつくり、お互いのことを知ることから始めることを目的としている。また、この日は東日本大震災発生から8年を迎える日であり、14時46分には参加者全員で黙祷を行った。

開催日時	平成31年3月11日(月) 13:30~16:00
場所	大野城まどかぴあ多目的ホール
参加人数	86名
ファシリテーター	加留部 貴行 氏
テーマ	「ボランティアのこれからってなんだろう？」
対象者	ボランティアセンターに登録しているボランティアグループ及び個人登録ボランティア、地域福祉活動ボランティア、エントリーシステム利用者

5 ①災害ボランティアセンター設置・運営訓練

開催日時	平成31年3月10日(日) 8:45~13:00
参加人数	災害ボランティア「ONOJO」メンバー:7名 社協職員:7名
内 容	・テント設営、高圧洗浄機・発電機の操作確認 ・職員とボランティアがペアとなり、各班にボランティアをスムーズに通すための動線や班の機能を發揮するためのアイデア出し ・全員で災害ボランティアセンターに来て受付をするところから被災地に出発するまでの流れの確認

6 被災地での災害ボランティア活動希望者への情報提供・コーディネート等

大野城市民の方々で被災地においてボランティア活動を希望される方への情報提供や、ボランティア保険の手続きを行い、被災地にて注意すべきアドバイス等を行いながら送り出しを行った。

被災地での活動人数：170名（大野城市社協にて保険手続きを行われた方の人数）

7 ボランティアエントリーシステムの構築

ボランティア活動へ気軽に「エントリー（応募）」することができる仕組みを創り、ボランティア活動メニューを開発することにより、新たな人材がボランティア活動を始める機会を提供するためのボランティアエントリーシステムの構築に向けて、市内のボランティアの受け入れを行っている福祉施設やボランティア団体にボランティアエントリーシステムの趣旨説明を行い、及び気軽にできるボランティア活動メニューづくりを行った。また、ホームページから簡単に申込ができるようなツールとしてのシステム構築を行い、試行的に運用を行いボランティアの募集を行った。今後は隨時気軽に参加できるようなボランティア活動メニューを増やしていくかなければならない。

募集したボランティア活動メニュー (エントリ一件数32件) 前年比13件増

- | | |
|--------------------|--------------------|
| ・ウォーキング付き添いボランティア | ・赤い羽根共同募金のお手伝い |
| ・こども食堂・学習支援 | ・日帰り旅行の付き添い |
| ・小中ふれあいの旅ボランティア説明会 | ・ふくしフェスティバルのボランティア |
| ・ふれあいの旅ボランティア説明会 | ・デイサービスでのカフェ |
| ・グラウンドゴルフ補助ボランティア | |
| ・スポーツ運動補助ボランティア | |
| ・たけのこ支援クリスマス会 | |
| ・認知症カフェ | |
| ・あけぼの園七夕祭り・夏祭り | |

8 ボランティアセンター登録

★ボランティア登録者数（団体登録者 674名 個人登録者 218名）

★ボランティア団体登録状況

総合福祉センター1階のボランティアセンターを拠点に活動しているボランティアグループの支援を行うとともに、ボランティアセンターはボランティアのたまり場として、なくてはならないスペースであり、コピー機や大型プリンターは各種団体や地域の利用も増えている。また、ボランティア連絡協議会は、ふれあいの旅等において常に協働するとともに、共同募金配分金をとおしてその活動への助成を行っている。

大野城市ボランティア連絡協議会 構成数10グループ

グループ名	活動内容	会員数
大野城手話の会	手話講習会の開催、手話通訳者の派遣、聴覚障がい者との交流会	30名
点訳サークル あゆみの会	点訳講習会の開催、各種点訳活動、視覚障がい者との交流会	13名
朗読の会 文鳥	朗読講習会の開催、社協だよりや図書の吹き込み、視覚障がい者との交流会	26名
スニーカー	手をつなぐ育成会の支援、知的ハンディを持つ方々とのレクリエーション活動	11名
介護ボランティア ききょう	特別養護老人ホームでのお手伝い、食事サービス利用者への絵手紙づくり	16名
おもちゃの図書館 あいあい	障がいを持つ子どもも持たない子どもも共に遊ぶおもちゃの図書館の開館、手作りおもちゃの作成	18名
拡大写本 虹の会	弱視の方から要請のある図書の拡大写本づくり、視覚障がい者との交流会	8名
車いすダンス アミーゴス	車いすダンスの普及活動、車いす利用者との交流会	55名
運転ボランティア むつわ	社会福祉協議会のハンディキャブ貸出事業における車両の運転	7名
大野城要約筆記の会 ぴあ	聴覚障がい者への文字による同時通訳活動、要約筆記奉仕員養成講座の開催	6名
計 190名		

ボランティアセンター登録グループ 23グループ

グループ名	活動内容	会員数
まちづくり懇談会	市民サイドからのまちづくり研究やふるさとづくり活動	14名
NPO法人 アジア女性センター	子どもと女性の人権を守るためにサポート事業、海外支援、交流事業、提言、ネットワーク事業(調査、研究)	139名
グループファンタジア	施設や敬老会等でのマジックボランティアやマジックによる各種団体との交流活動	10名
創人エイサー守破離太鼓	施設や老人会、地域でのイベント等での演舞	22名
国際交流協会	コミュニティ活動等を活かした国際交流の推進	103名
子育てサポーターたけのこ支援	大野城市に引っ越してきた親子等を対象に子育てサロンを開催	10名
おもちゃ病院大野城	壊れたおもちゃの修理	4名
花の芽クラブ	障がいのある人とない人が一緒に楽しめる風船バレー・ボールを通しての交流活動及び普及活動	21名
ボランティアグループ りんごの会	近隣の公民館や福祉施設等で唄や踊り、楽器演奏などを通しての慰問活動	5名
大野城傾聴ボランティア「ダンボ」	大野城市内の施設等においての傾聴ボランティア活動	12名
大野城学習支援室かぼちゃ	生活困窮家庭の子どもに対する学習支援や保護者への進学助言を行う	5名
おやのかい MIRAI	発達障害の子どもや保護者、発達障害に理解ある者が会員となり、発達障害の子どもたちが安心して就労できる企業や事業所を訪問して増やす活動	20名
にほんご教室さんしやい	留学生等の外国人に日本語を教え、学習することをとおして国際交流を図り会員相互の理解を深める活動	7名
演歌しゃくなげ	施設等においてギターや三味線、大正琴などの楽器を使って季節の童謡や歌謡曲、ナツメロ音楽を演奏	5名
マジック雅	マジックを通した地域の方々との交流や、地域社会の活性や社会福祉の情操を目指した活動	15名
LaLaLa 音楽レクリエーション	介護予防や認知症予防のための音楽療法やレクリエーションの要素を取り入れた音楽や、子どもを対象にした音とリズムと歌を楽しむ活動	8名
ららら♪ シニアネットオーケストラ	施設等での童謡・唱歌・ナツメロなどの昔懐かしい曲の生演奏活動	19名
いきいき健康レクササイズ	レクリエーションの要素を取り入れた椅子に座ったままできる運動(エクササイズ)や昔懐かしい歌を取り入れた運動	6名
Blue bear project	老人ホームでのふれあい演奏会や学校等でのライブ演奏	5名
なんくる～ず	デイサービスや老人ホーム、公民館等で三味線を使った沖縄民謡や童謡等の演奏	12名
「ハレハレ～hare * hale～」子どもの居場所づくりサークル	様々な理由で学校に行けない、または自分の居場所がないと感じる子どもの居場所をつくる活動	7名
災害ボランティア「ONOJO」	災害ボランティアとして必要な知識やスキルを学びながら、支援の輪を広げる活動と災害時支援活動	27名
MELODY	音を奏で、演者も聴いてくださる方も楽しい時間を過ごしていただきたいと願い活動を行っている	8名

計 484 名

27. 声の広報

目の不自由な方や寝たきりの方に、青年団体連絡協議会が市の広報を、朗読の会「文鳥」が社協だより、季節のたより『紙飛行機』、希望図書等をカセットテープに吹き込み、自宅に届けている。

平成30年度実績

回 数:	24回
登録利用者数:	11名

IV. 総合相談事業

総合相談事業 44

28. 総合相談事業

地域住民の悩みと一緒に考え、よりよい解決策をさがし、問題解決を図るために弁護士による専門相談員や常勤相談員による助言を行う場を総合福祉センター内に設けている。

平成29年度より、地域住民の身近な地域で相談事業を実施するため、新たな取り組みとして4地区のコミュニティセンターにおいて、弁護士による相談事業を実施している。

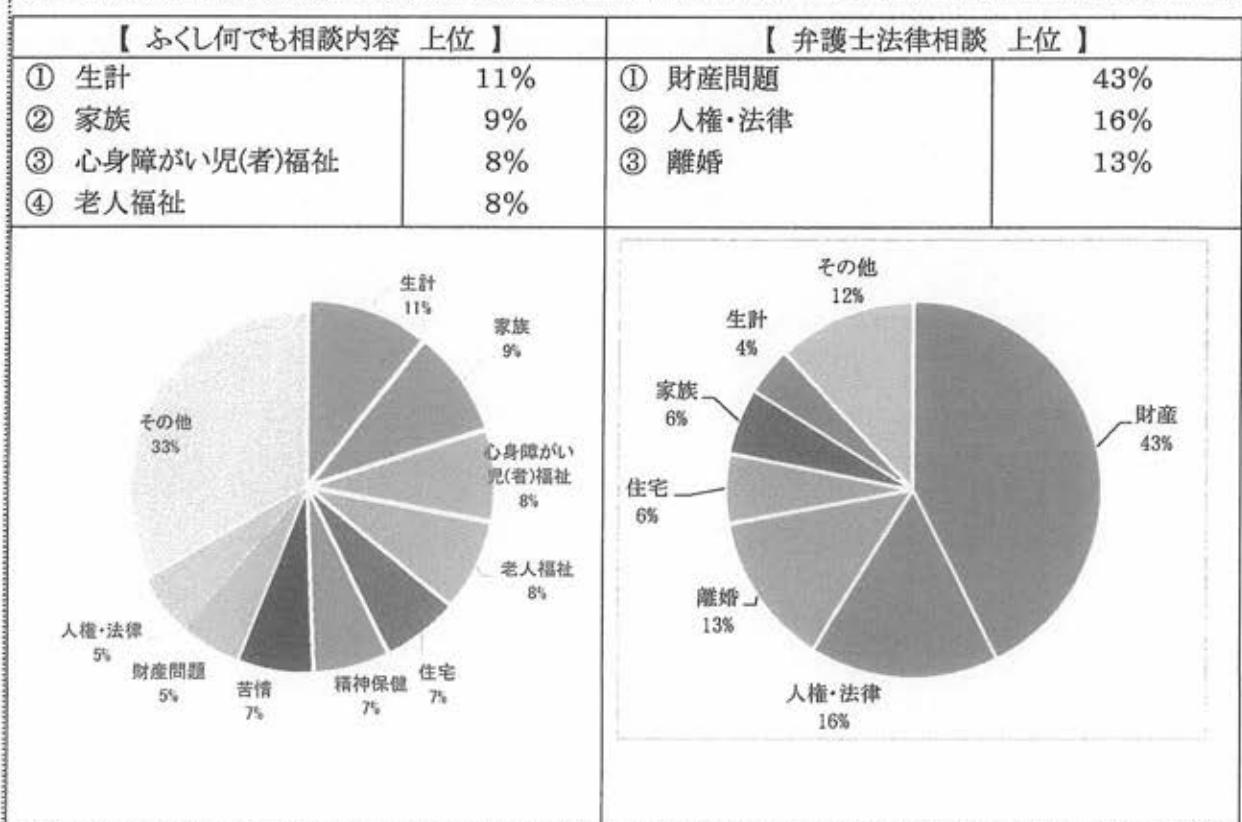
◇市の広報掲載内容

問 社会福祉協議会 ☎(572)7700 ふくし何でも相談 福祉の各種相談を随時受け付けています。 電話相談可☎(501)3311 ※正午から午後1時までは昼休み、 土・日・祝日・年末年始は休み	弁護士による電話法律相談 生計・離婚・相続・債務整理・借家などの法律相談 毎月第2木曜日午前10時～正午 (受付は午前11時40分まで) ☎(501)7830	弁護士による心配ごと相談 生計・離婚・相続・債務整理・借家などの法律相談 毎月第1～3火曜日午前10時～正午 △第4火曜日午前10時～午後3時 ※受付は午前9時～、 午後0時45分～ 事前予約可(午前11時～正午)
---	---	---

平成30年度実績

1 相談内容・状況等

相談員：社協担当職員1名、弁護士6名	協力：民生委員4名
内容：心配ごと相談(第1・2・3・4火曜日)	236件(58回)
電話法律相談(第2木曜日)	29件(12回)
ふくし何でも相談(月～金曜日)	76件
南コミュニティセンター法律相談	8月18日 4件
中央コミュニティセンター法律相談	7月17日 雨のため中止
東コミュニティセンター法律相談	8月14日 2件
北コミュニティセンター法律相談	7月21日 5件
ふくしフェスティバル法律相談	11月25日 11件
	363件 (前年比112%)



VI－総合相談事業

*高齢社会を背景とした介護についての家族問題や財産に関する相続問題、将来への不安等の相談が増えている。また、債務整理など実際に弁護士に委任した方がよいと思われる案件も多くなっており、生活困窮を含め、問題・課題も複雑化しているため、場合によっては、他の機関が行っている支援制度へと確実につなぎ、相談者のよりよい生活へ向けて尽力している。

2 相談員懇談会の開催

相談事業における近年の傾向や要望を基に、市民が活用しやすい相談事業のあり方を協議し、改善点(開催回数・開催内容)の確認と相談事例の情報交換を行った。

期　日	参 加 者
平成 31 年 1 月 31 日	弁護士 6 名　相談関係職員

3 地域のニーズに応えるための協議・確認事項

他機関における各種相談との区別化を図り、法律相談以前の身の上相談を含む幅広い相談に対応している。広報についても担当弁護士と連携を図りながら積極的に取り組み、地域の方に広く利用していただけるよう環境づくりに努めている。尚、次年度よりニーズの高まりに合わせ、開催回数を1回(第1火曜日の午後)増やすこととした。

V. 介護サービス事業

介護サービス事業 46

29. 介護サービス事業

介護サービス事業については、地域福祉活動の視点をもって社協らしい介護サービス事業を展開すべく職員の資質向上に努めた。

区分	施 策	活 動 内 容
介護保険事業	指定居宅介護支援事業	介護支援専門員によるケアプランの作成(要介護及び総合事業)
	指定訪問介護事業	訪問介護員が居宅に伺い、身体介護・生活援助のホームヘルプサービスの提供 〈実施〉月～日曜日 7:00～24:00
	指定訪問入浴介護事業	看護職員等が居宅に移動入浴車で伺い、浴槽を搬入し入浴介護サービスの提供 〈実施〉月～日曜日 8:30～21:00
総合事業	訪問型サービス国基準	訪問介護員が居宅に伺い、主に生活援助のホームヘルプサービスの提供 〈実施〉月～日曜日 8:30～17:00
	訪問型サービスA	訪問介護員が居宅に伺い、主に生活援助のホームヘルプサービスの提供 〈実施〉月～日曜日 8:30～17:00
受託事業	地域生活支援事業	平成18年10月より新設された障がい福祉サービスの一部 ・移動支援 移動に支援を必要とする方(視覚障がい者等)を対象とした移動支援サービス。屋外での移動が困難な障がい児(者)に対して、学校や通所施設への送迎や外出の訓練等の際に、学校等へ送迎も行います ・訪問入浴サービス 身体障がい者で自力の入浴ができない方への訪問入浴サービス
	訪問入浴サービス事業	身体障がいの方(65歳未満)・介護保険外の高齢者の方への移動入浴車による入浴介護サービスの提供
	タイムケア事業	障がいのある18歳以下の子どもに放課後の活動場所を提供とともに、保護者等の一時的休養を確保するための一時預かり事業 ◇すこやか交流プラザ等におけるタイムケア事業 〈実施〉 第1・第3土曜日、第4日曜日 9:30～17:30 冬休み、春休み、夏休み期間中の火、金曜日 9:30～17:30
	赤ちゃんホームヘルプサービス	基本的には生後12週間以内の赤ちゃんのいる家庭を対象に、日常支援が必要な場合にホームヘルパーを派遣する
	乳児家庭全戸訪問事業(こんにちは赤ちゃん訪問事業)	生後4ヶ月未満の乳児のいる家庭に訪問し、育児に関する不安や悩みの聴取・相談、親子の心身の状況や養育環境の把握、子育て支援に関する情報提供を行う

V-介護サービス事業

区分	施 策	活 動 内 容
障害者福祉サービス	居宅介護	ホームヘルプサービスと呼ばれているサービスで、自宅で入浴・排泄・食事などの介護を行います
	重度訪問介護	重度の肢体不自由者で、常に介護が必要な障がい者に、自宅で入浴・排泄・食事の介助を行います。外出時の移動を助け、移動中の介護も行います
	行動援護	知的障がいや精神障がいにより行動が困難で常に介護が必要な障がい者に、行動するときの危険を回避する援助や外出時の移動の補助を行います
	同行援護	視覚障がいにより、移動に著しい困難を有する者に、外出時において同行し、移動に必要な情報を提供するとともに、移動の援護、排泄・食事等の介護等を行います
	指定特定相談支援 指定障害児相談支援	サービス等利用計画についての相談及び作成などの支援が必要と認められる場合に、障がい者・児の自立した生活を支え、障がい者・児の抱える課題の解決や適切なサービス利用に向けて、ケアマネジメントによりきめ細かく支援を行います
制度外	ほっとサポート	①制度上(障害者総合支援法、介護保険等)のホームヘルパー派遣において制限をうける人 ②ホームヘルパーの派遣をうけないと日常生活に支障をきたす人を対象とするサービス。地域の中で安心して暮らせるように、日常生活に必要な介護等の支援を行うことを目的とした大野城市社会福祉協議会独自の事業

平成 30 年度実績

1 介護サービス状況

卷末資料「別表3 平成 30 年度 介護サービス状況」P 60~62 参照

2 制度外介護サービス状況

卷末資料「別表4 ほっとサポート状況」P 63 参照

3 介護サービス研修会

卷末資料「別表5 平成 30 年度 介護サービス研修会開催状況」P 64
参照

4 実習生受け入れ状況

◇平成 30 年度 訪問介護実習生受け入れ状況

団 体 名	期 間	人 数
麻生医療福祉専門学校	8/3.8/7	1
合 計		1

VI. 総合福祉センター

総合福祉センター 48

30. 総合福祉センター

総合福祉センター1階の交流スペース「ほっとぴあ」、及び「ボランティアセンター」は、毎日多くの市民の方に利用していただいている。また、2階、3階会議室等においては、机等の器具の買い替えも終わり、計画的にセンター内の設備等の改修工事を行い、より利用しやすいよう環境整備を図っている。

今後も、市民に開放された、誰もが利用しやすい福祉センターとして、また本来の目的である福祉活動の拠点として運営していく。

平成30年度実績

	社 协		①福祉団体等		②行政関係		一般有料		合 計	
	件	人 数	件	人 数	件	人 数	件	人 数	件	人 数
4月	21	264	129	1,723	9	188	21	753	180	2,928
5月	15	143	121	1,621	7	82	26	897	169	2,743
6月	28	297	126	1,580	7	106	36	1,380	197	3,363
7月	15	144	129	1,748	11	355	31	864	186	3,111
8月	19	306	110	1,437	7	192	20	697	156	2,632
9月	20	419	118	1,918	5	62	35	1,020	178	3,419
10月	21	675	126	1,546	10	57	43	1,840	200	4,118
11月	24	450	113	1,510	4	35	39	1,668	180	3,663
12月	22	311	106	1,395	5	145	25	1,044	158	2,895
1月	15	194	102	1,329	7	123	30	1,187	154	2,833
2月	31	506	106	1,529	4	35	24	927	165	2,997
3月	36	419	109	1,330	8	64	25	937	178	2,750
合計	267	4,128	1,395	18,666	84	1,444	355	13,214	2,101	37,452

◇平成30年度 総合福祉センター利用状況 ①福祉団体等

	福 祉 团 体 等						合 計	
	ボランティア		福祉関係		その他の			
	件	人 数	件	人 数	件	人 数	件	人 数
4月	92	1,049	26	600	11	74	129	1,723
5月	91	1,098	20	474	10	49	121	1,621
6月	101	1,127	16	332	9	121	126	1,580
7月	99	1,263	18	430	12	55	129	1,748
8月	88	1,086	15	320	7	31	110	1,437
9月	81	923	24	921	13	74	118	1,918
10月	97	1,129	18	374	11	43	126	1,546
11月	88	1,088	20	390	5	32	113	1,510
12月	79	938	20	419	7	38	106	1,395
1月	77	997	17	292	8	40	102	1,329
2月	80	1,124	21	373	5	32	106	1,529
3月	80	883	20	383	9	64	109	1,330
合計	1,053	12,705	235	5,308	107	653	1,395	18,666

◇平成30年度 総合福祉センター利用状況 ②行政関係

	行政 関 係							合 計		
	福 祉		教 育		総 務		その他の			
	件	人 数	件	人 数	件	人 数	件	人 数	件	人 数
4月	5	164	2	20	0	0	2	4	9	188
5月	3	66	1	10	0	0	3	6	7	82
6月	0	0	4	100	0	0	3	6	7	106
7月	4	100	3	209	0	0	4	46	11	355
8月	4	170	2	20	0	0	1	2	7	192
9月	2	40	2	20	0	0	1	2	5	62
10月	6	14	2	31	0	0	2	12	10	57
11月	1	10	2	20	0	0	1	5	4	35
12月	2	123	2	20	0	0	1	2	5	145
1月	2	20	1	10	0	0	4	93	7	123
2月	1	10	2	20	0	0	1	5	4	35
3月	4	32	0	0	0	0	4	32	8	64
合計	34	749	23	480	0	0	27	215	84	1,444

VII. 権利擁護事業

日常生活自立支援事業 50
法人後見事業について 51
ライフレスキュー事業 52

31. 日常生活自立支援事業

第2期大野城市地域福祉活動における市民活動推進計画

社会福祉法に基づき、認知症の方、知的障がい者、精神障がい者の方で判断能力が不十分なため日常生活が困難な方に対して、自立した地域生活が送れるよう、社協に生活支援員を配置し、福祉サービスの利用や日常的金銭管理、書類等(預貯金通帳)の預かり等のサポートを行っている。

本事業の利用に関する相談、また本事業の利用者は、年々増加の一途をたどっており、マンパワーの確保が急務となっている。

本会として、日常生活自立支援事業は、市民参加が難しい権利擁護事業において、唯一市民参加が可能な事業として位置づけし、地域福祉関係者に生活支援員を担っていただき、段階的に増員をはかり平成30年度は新たに1名が生活支援員として加わった。

平成30年度実績

◇新規相談件数：22名（男性13名 女性9名）

類型内訳：認知症8名 知的4名 精神7名 重複(知的・精神)1名 その他2名

◇利用者数：29名（男性20名 女性9名）

類型内訳：認知症14名 知的4名 精神5名 重複(知的・精神)2名 その他4名

◇生活支援員 援助活動実績表 生活支援員14名(内、担当社協職員4名)

	件数	回数	終了	開始
4月	25	28	0	2
5月	25	34	0	0
6月	26	37	0	1
7月	27	41	0	1
8月	27	46	0	0
9月	28	33	1	1
10月	29	43	0	2
11月	29	44	1	0
12月	28	45	0	0
1月	28	39	0	0
2月	29	43	0	1
3月	29	43	1	0
合計	330	476	3	8

(前年比 122%)

◇生活支援員会議

開催日	内 容
4月 20日(金)	<ul style="list-style-type: none"> ・日常生活自立支援事業の現状について ・生活支援員の役割と職務について
7月 25日(水)	<ul style="list-style-type: none"> ・日常生活自立支援事業の現状について ・支援の手順・ケース記録の記入のポイントについて ・事例を交えた意見交換（法テラス弁護士との連携）
10月 24日(水)	<ul style="list-style-type: none"> ・日常生活自立支援事業の現状について ・日常生活自立支援事業 専門員研修会参加報告 ・意見交換
2月 27日(水)	<ul style="list-style-type: none"> ・日常生活自立支援事業の現状について ・日常生活自立支援事業 支援員研修会参加報告 ・意見交換

32. 法人後見事業

第2期大野城市地域福祉活動における市民活動推進計画

平成30年度実績

1 成年後見運営委員会の開催**第1回成年後見運営委員会**

期 日：平成30年5月24日(木)

場 所：大野城市総合福祉センター2階多目的室

運営委員：弁護士(1)、司法書士(1)、社会福祉士(2)、行政関係者(1) 計5名

内 容：①受任中ケースの報告(1件)

②前回継続審議ケースに関する報告・審議(2件)

③相談ケースの報告(1件)

第2回成年後見運営委員会

期 日：平成31年2月7日(木)

場 所：大野城市総合福祉センター3階小会議室

運営委員：弁護士(1)、司法書士(1)、社会福祉士(2)、行政関係者(1) 計5名

内 容：①受任中ケースの報告(2件)

②相談ケースの報告(1件)

2 その他の相談ケース内容と今後の展開

日常生活自立支援事業の利用相談があつてあるケースで、多額の預貯金を持っており、賃貸契約など手続き関係の際は支援が必要であるケースや、現在住んでいるマンションのローンを支払いながら、不動産を2件持っているが、収支のバランスが崩れているため、滞納をされているケースなど、近い将来後見制度利用が必要であると考えられるケースが増えている。

福岡家庭裁判所管轄において法人後見事業を実施している社会福祉協議会を対象に、受任状況についての情報交換をはじめ、成年後見制度に対する社会福祉協議会における取組みに関する現状と課題を共有し、今後の事業実施に活かすことを目的に、平成30年11月26日初めて県社協による福岡地区法人後見実施社協による意見交換会があり参加をした。社協同士での顔の見える情報交換することは有意義であり、連携の大切さを感じており、意見交換会に今後も参加予定である。

③ 死後事務委任事業の開発にむけて

第1回会議 権利擁護事業における事業開発の研究：死後事務について

期 日：平成30年5月30日(水)10時～11時

場 所：会長室

参加者：合原局長・井上・小川・永田・宮原・橋川

内 容：死後事務の内容の確認、死後事務実施社協の内容比較、講演会・エンディングノート
アンケートなどの今後の検討事項について協議を行う。

権利擁護セミナー開催：「人生の最終章を自分らしく生きるための備え」

期 日：平成31年2月28日(木)13時30分～15時

会 場：総合福祉センター2階多目的室

参加者：52名(民生委員・福祉委員・シニアクラブ会員・包括支援センター職員等)

目 的：個人・家族・地域・社会、それぞれの立場で、その人が自分らしく生きるために、どんな準備
や関わりが必要であるかを考えるきっかけになること

講 師：一般社団法人「えにしの会」福岡事業所 所長 笠井 久仁彦氏、相談員 鎌田 拓磨氏

内 容：身元保証について

33. ライフレスキュー事業

社会福祉法人の公益事業として県下で進められている生活困窮者等に対する相談・支援事業である
「ふくおかライフレスキュー事業：主管福岡県社会福祉協議会等」に参加し、権利擁護事業の拡充を図る。この事業に参画する市内の社会福祉法人及び市の関係部署とも連携を図りながら、緊急を要する人への食材支援、ライフラインの復旧などの経済的援助（現物給付）を行い、個別支援を強化する。

平成30年度実績

① 第1回ライフレスキュー事業・大野城担当者会議の開催

期 日：平成30年10月4日(木)10:30～

場 所：総合福祉センター小会議室1

参加者：仁風園 篠原施設長・あけぼの園 田中施設長
大野城市社協 井上・小谷・小川・村上

内 容：各法人のサポーターの配置状況などの現状、大野城市におけるライフレスキュー事業の手
順の中での情報共有、また、先進的に事業展開されている地区の視察研修の検討などに
についての確認を行った。

VIII. 寄附採納事業

寄附採納事業 53

34. 寄附採納事業

寄附金は在宅高齢者・障がい者の方への支援事業やボランティアセンター運営事業など社会福祉協議会が行なう民間社会福祉事業に活用されている。

※寄附種別

- 一般寄附 個人、団体の善意による寄附
- 香典返し寄附 故人並びにご遺族のご遺志による寄附
- 指定寄附 指定した事業に充てられる寄附
- 物品寄附 車いす、紙オムツなど物品による寄附

平成30年度実績

◇寄附採納事業実績

寄附種別	件 数	寄附内容
一般寄附	72件 ※平成30年度より新たに「社協応援寄附」を実施。 ふくし応援メニュー“ぽっかけ”	1, 708, 043円
指定寄附	(大野城市身体障がい者福祉協会へ) 1件	20, 000円
香典返し寄附	18件	1, 017, 862円
(合計)	91件	2, 745, 905円
物品寄附	55件	シルバーカー3台、車いす9台、浴槽台2個、杖4本、滑り止めマット2枚、リハビリシューズ1足、シャワーチェア5台、紙おむつ・パッド10枚、その他介護用品2件、お菓子11件、お米1件、食品1件、衣類2件、手芸用品3件、遊具2件、鎌類5件、寝具3件、タオル2件、カメラ1件、文具1件、ペットホトルキップ・ブルトップ1件、コンサートチケット1枚、カレンダ1枚、視覚障害者用腕時計1個、切手・ハガキ等は一般寄附へ

一税控除の適応についてーく社会福祉協議会へのご寄附は特定寄附金です>

個人寄附者

$$\text{寄附金控除額} = \boxed{\begin{array}{l} 1月～12月まで \\ \text{特 定 寄 付 金} \\ \text{総所得の } 40\% \text{相当額} \end{array}} - 2, 000円$$

どちらか
少ない額

企業寄附者全額損金算入限度額 =

$$\boxed{\begin{array}{l} 1月～12月まで \\ (\text{資本金の } 0.25\%) + (\text{所得の金額の } 5\%) \div 2 \end{array}}$$

IX. その他の事業

ふくしまフェスティバル 2018	54
社会福祉援助技術現場実習受け入れ	54
職員の資格（取得）状況	55
職員内部研修	56

35. ふくしフェスティバル2018

第2期大野城市地域福祉活動における
市民活動推進計画

高齢者・障がい者・児童福祉などに対する正しい理解と普及啓発を図るとともに、市民の地域福祉活動を促進することを目的したこの事業は今回で19回目を迎えた。

計6回の実行委員会を行い、企画内容の検討がなされた。メイン会場であるギャラリーモールをより活気づけるため、ボランティアセンター登録団体に出演してもらい、フェスティバル開催中にイベントができる限り途切れないように企画の工夫が行われた。大ホールでは、平成30年度初めて小学校に出演依頼をし、大城小学校の2年生と4年生の児童に出演していただき、大ホールは保護者をはじめたくさんの集客となった。また、大野城心のふるさと館と連携イベントを行ったことで、大野城心のふるさと館への来場者も多かった。また初めてパンフレットの全戸配布を実施した結果、来場者が過去最高となった。

平成30年度実績

内 容：福祉施設団体や音楽サロン発表等のアトラクション、作品展示販売コーナー、ボランティア体験コーナー、作ろう！食べよう！介護食、宇木さん（視覚障がい者）コンサートなど

期 日：平成30年11月25日（日）

場 所：大野城まどかぴあ・市役所南側駐車場・大野城心のふるさと館

参 加 者：約7,500人

主 催：大野城市ふくしフェスティバル実行委員会

共 催：大野城市・大野城市社会福祉協議会

36. 社会福祉援助技術現場実習受け入れ

将来の福祉従事者を育成する一環として、各学校からの実習生の受け入れを行なっています。実習内容は、社会福祉協議会の事業全般にはじまり、介護サービス（訪問介護、訪問入浴）、コミュニティワーカーの地域福祉活動の現場実習等、様々なカリキュラムを組んでいます。

平成30年度実績

◇実習生受け入れ状況

実習期間	大学名	人数
8月8日（水）～9月21日（金）	筑紫女学園大学	1
8月8日（水）～9月21日（金）	西南学院大学	1

37. 職員の資格（取得）状況

資格等名	社会福祉士	社会福祉主事	社会保険労務士	ボランティアコーディネーション力	ボランティアコーディネーション力	社協会計実務通信講座	簿記3級以上	介護支援専門員	主任介護支援専門員	看護師	介護福祉士	ホームヘルパー	ガイドヘルパー	介護職員初任者研修	行動援護	強度行動援護	同行援護	精神障がい者ヘルパー	難病ヘルパー	喀痰吸引（第3号）		
事務局	7	8	1	2	6	1	1	1	5	2	1	2	4	1	2	1			1		1	
介護サービス	3				1				9	4	3	3	17	4	20		14	3	1	4	10	9
総数	10	8	1	2	7	1	1	1	14	6	4	3	19	4	24	1	16	4	1	4	11	9

資格等名	認知症キャラバンメイト	バリデーション	認知症ケア専門士	障害者相談支援從事者	社会福祉士実習指導者	介護福祉士実習指導者	成年後見人養成	福祉住環境コーディネーター	福祉用具相談専門員	医療事務	介護クラーク事務	防災士	保育士	幼稚園教諭	調理師	栄養士	食品衛生責任者	図書館司書	第二種衛生管理者	大型一種運転免許	車イスレクダンスインストラクター	
事務局				1	3	5	1	2			1	4	3	4	2	1			1	3		1
介護サービス	5	2		3	1	1	2	3	2		3			3	4	2	1	2	2		1	
総数	5	2	1	6	6	1	1	4	3	2	1	7	3	4	5	5	2	1	2	2	1	1

38. 職員内部研修

◇平成30年度職員内部研修

①接遇研修

開催日	平成30年7月14日
開催場所	大野城市総合福祉センター
参加者	職員38名
研修内容	「よい対応とは…あなたならどうしますか」　『私は…こうします』

②人権研修

開催日	平成30年12月8日
開催場所	大野城市総合福祉センター
参加者	職員44名
研修内容	人と人のつながりも求めて ～私の取材、啓発活動から見えたもの～ 講師 西尾 紀臣 氏

③新人職員研修

◇◆◇ ◇◆◇ 新人職員研修プログラム ◇◆◇ ◇◆◇

研修期間												
月	日	曜日	研修内容		担当課	担当	担当	時間				
4	2	10~12	大野城市社会福祉協議会の使命と変遷				常務理事		2			
4	2	16~17	ガイダンス／社協概要（社協の全体像・ミッション・組織・役員・職員）について		合原	高原			1.5			
4	3	9~12	法人の運営／規程・処遇／社保関係手続		総務企画課	高原 合原		3				
			総合福祉センター（館内案内）・支援ショップ・ほっとぴあ									
			接遇（来館者・相談者・利用者・各種団体・団体代表者・理事・評議員）・湯茶接待									
			就業リズム（1日の流れ）									
4	5	13:30	総合相談事業・生活福祉資金		権利擁護課	井上	井上	1				
			日常生活自立支援事業・法人後見			井上	井上	1				
4	5	10~12	地域福祉活動の推進、地域組織、地域ケア会議				馬場	金丸	2			
4	10	9~10	当事者支援・福祉教育				馬場		1			
4	5	9~10	地域ケアシステムと生活支援体制整備事業				馬場		1			
4	6	11~	居宅介護支援事業				阿相		1H			
			二人ずつ						4H			
4	10	13~15	訪問介護事業・訪問入浴介護事業・介護予防事業（訪問・入浴）ほっとサポート事業 障害福祉サービス・地域生活支援事業				福島		2H			
									4H			
4/17. 20. 24. 27							居宅介護サービス課					
4	9	13~	タイムケア事業						0.5H			
4	6	13~	赤ちゃん・こにちは赤ちゃん訪問				萩尾		0.5H			
4	9	10~11	ボランティアセンター事業・移送サービス事業・ハンディキャブ貸出事業				地域課	馬場	金丸			
			広報啓発事業（社協だより）・緊急災害援助									
4	10	10~12	社協会員・共同募金運動				募金課	地域課	2			
4	6	11~12	福祉食事サービス事業		4/16昼食 4/16~夕食				1H・4H			
4	9	9~10	福祉機器貸出事業				地域課	馬場	村上			
			リサイクル事業・福祉バス事業					馬場	生田			
4	14	9~11	介護サービス定例ミーティング		社協の事業計画				2			
Q & A・その他			・Q…どこの課に、何を尋ねたいか？									
※ 担当職務の業務内容や引き継ぎ等については、各担当で行っていきます。												
※ 資料：組織図・事業報告書・事業計画予算書												

資料

別表 1	社協会員推進状況	… 58
別表 2	地域ケア会議開催状況	… 59
別表 3	介護サービス状況	… 60
別表 4	ほっとサポート状況	… 63
別表 5	介護サービス研修会開催状況	… 64
別表 6	福祉食事サービス利用状況	… 65
別表 7	職員研修参加等実績	… 66

別表1

平成30年度社協会員推進実績

区分	一般会員			賛助会員			特別会員			平成30年度実績			平成29年度実績		前年度比較	
	件数	口数	金額	件数	口数	金額	件数	口数	金額	件数	口数	金額	件数	口数		
牛頭	816	1,006	503,000	1	1	2,000	0	0	817	1,007	505,000	993	507,000	△ 2,000		
若草	484	556	279,800	1	1	2,000	1	1	486	558	286,800	580	296,600	△ 9,800		
平野台	994	994	497,000	0	0	0	0	0	994	994	497,000	978	489,000	8,000		
月の浦	1,193	1,264	634,600	0	0	0	0	0	1,193	1,264	634,600	1,284	642,000	△ 7,400		
南ヶ丘1	1,668	1,865	932,500	0	0	0	0	0	1,668	1,865	932,500	1,849	926,000	6,500		
南ヶ丘2	1,056	1,056	528,000	0	0	0	0	0	1,056	1,056	528,000	1,046	523,000	5,000		
つつじヶ丘	861	1,171	585,500	0	0	0	0	0	861	1,171	585,500	1,165	582,500	3,000		
上大利	361	1,500	750,000	1	1	2,000	0	0	362	1,501	752,000	1,497	750,000	2,000		
下大利	319	893	460,900	0	0	0	4	4	20,000	323	897	480,900	860	453,400	27,500	
東大利	179	937	492,500	0	0	0	1	1	5,000	180	938	497,500	823	419,900	77,600	
下大利団地	541	542	271,000	2	2	4,000	0	0	543	544	275,000	542	277,000	△ 2,000		
白木原	208	388	194,000	3	3	6,000	24	24	78	390,000	235	469	590,000	609	586,500	3,500
瓦田	383	824	422,676	21	21	42,000	3	3	15,000	407	848	479,676	892	515,676	△ 36,000	
釜蓋	38	552	276,000	0	0	0	1	1	5,000	39	553	281,000	572	296,500	△ 15,500	
井の口	509	596	298,000	0	0	0	0	0	509	596	298,000	577	288,500	9,500		
中	365	902	451,000	1	1	2,000	0	0	366	903	453,000	872	437,500	15,500		
乙金	88	515	295,750	1	1	2,000	0	0	89	516	297,750	536	325,000	△ 27,250		
乙金台	499	499	249,500	0	0	0	0	0	499	499	249,500	500	250,000	△ 500		
乙金東	423	423	211,500	0	0	0	1	1	5,000	424	424	216,500	464	236,500	△ 20,000	
大池	385	385	192,500	0	0	0	0	0	385	385	192,500	394	197,000	△ 4,500		
上筒井	634	1,390	695,000	2	2	4,000	0	0	636	1,392	699,000	1,386	694,500	4,500		
下筒井	219	556	278,000	3	3	6,000	0	0	222	559	284,000	562	288,500	△ 4,500		
山田	494	495	247,500	1	1	2,000	0	0	479	480	249,500	523	274,000	△ 24,500		
雑餉隈町	111	121	60,500	1	1	2,000	4	4	20,000	116	126	82,500	143	91,000	△ 8,500	
栄町	72	75	37,500	3	3	6,000	1	2	10,000	76	80	53,500	79	56,000	△ 2,500	
仲島	229	260	130,000	0	0	0	1	1	5,000	230	261	135,000	267	138,000	△ 3,000	
畠詰	107	193	96,500	0	0	0	0	0	107	193	96,500	195	97,500	△ 1,000		
シニアクラブ	7	13	6,500	4	5	10,000	18	18	90,000	29	36	106,500	30	93,000	13,500	
食改善	0	0	0	1	4	8,000	21	42	210,000	41	46	218,000	44	220,000	△ 2,000	
企業・団体	15	27	13,500	7	7	14,000	29	43	215,000	51	77	242,500	74	227,500	15,000	
リフトカーリ用者	2	2	1,000	18	18	36,000	6	10	50,000	22	22	87,000	26	127,000	△ 40,000	
福祉機器利用者	2	6	3,000	0	0	0	0	0	2	6	3,000	14	10,000	△ 7,000		
個人	0	0	0	2	4	4,000	0	0	2	2	4,000	0	0	4,000		
合計	13,262	20,006	10,094,726	77	83	162,000	119	213	1,065,000	13,457	20,276	11,321,726	20,382	11,330,076	△ 8,350	

別表2

平成30年度 地域ヶア会議開催状況

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	備考
牛 脊	16(月)	18(月)	20(月)	15(月)	10(月)	15(火)	10(月)	15(月)	10(月)	15(火)	11(月)	11(月)	時間は9:30~
若 草	11(金)	9(月)	5(水)	9(金)	20(火)	20(火)	9(金)	11(金)	11(金)	1(金)	1(金)	1(金)	時間は10:00~
平 野	台	11(金)	21(火)	28(火)	23(火)	23(火)					19(火)	26(火)	第4火曜日11:30
月 の 浦		26(火)											
南 ケ 丘 1	14(月)	9(月)	10(月)	12(月)	7(月)	7(月)					4(月)	4(月)	奇数月 第2月曜日10:00
南 ケ 丘 2	12(木)	14(木)	12(木)	2(木)	6(木)	1(木)	6(木)	10(木)	10(木)	14(木)	7(木)	7(木)	毎月第2木曜日14:00
つ つ じ ケ 丘		24(木)			9(木)	25(木)				17(木)		18(月)	
上 大 利		6(水)	1(水)	3(水)	5(水)	5(水)	3(水)	5(水)	5(水)	6(水)	6(水)	6(水)	偶数月第1水曜日11:15
下 大 利	9(水)	4(水)	5(水)	7(水)	7(水)	9(水)	7(水)	9(水)	9(水)	9(水)	6(水)	6(水)	奇数月第1水曜10:00~
東 大 利	16(木)	11(水)	19(水)	21(水)							20(水)	20(水)	第3水曜日10:00~
下 大 利 団 地	11(金)	6(金)	7(金)	2(金)	2(金)	2(金)	11(金)	11(金)	11(金)	11(金)	1(金)	1(金)	奇数月第1金曜日9:30
白 木 原	24(火)	5(火)	7(火)	2(火)	4(火)	4(火)					5(火)	5(火)	偶数月第1火曜日13:30
瓦 田	26(木)	28(木)	30(木)	31(水)	20(木)	20(木)	13(木)	13(木)	13(木)	22(金)	22(金)	22(金)	偶数月13:30~
釜 蓋			20(金)	26(水)									
井 の 口	4(水)	9(水)	13(水)	11(水)	19(水)	11(水)	8(木)	9(水)	13(水)	9(水)	13(水)	9(水)	第2水曜日10:00
井 中		25(金)	27(金)	28(金)	30(金)	30(金)	25(金)	25(金)	25(金)	25(金)	22(金)	22(金)	奇数月第4金曜日10:30
乙 金		9(水)	11(水)	12(水)	21(水)	21(水)					9(水)	9(水)	
乙 金 合		9(水)		1(水)			7(水)	7(水)			6(水)	6(水)	時間は14:30~
乙 金 東 池		20(水)	22(水)	17(水)	17(水)	17(水)	19(水)	19(水)	20(水)	20(水)	18(月)	18(月)	時間は19:00~
大 上 筒 井		18(月)					15(月)						
大 下 筒 井		22(火)	24(火)	25(火)	27(火)	27(火)	22(火)	22(火)	22(火)	22(火)	26(火)	26(火)	奇数月第4火曜日13:30
山 田		24(木)		23(木)			22(木)	22(木)	22(木)	21(木)	21(木)	21(木)	
雜 餉 町	25(水)				20(木)	20(木)					14(火)	14(火)	
榮 町		15(金)			31(水)	31(水)					23(水)	23(水)	基本的に第4水曜、時間は10:00~
仲 伸					17(金)	19(金)	7(金)	7(金)	15(金)	15(金)			時間はいすれも13:30
畑 詰	11(金)				23(木)	19(金)					8(金)	8(金)	時間は14:30~
開 催 回 数	6	15	11	12	13	13	12	9	12	12	12	12	【年間開催回数140回】

別表3 平成30年度 介護サービス状況

		H30					
		4月	5月	6月	7月	8月	9月
介護保険適用	居宅サービスケアプラン作成(人)	82	80	80	81	76	76
	介護予防ケアプラン作成(人)	1	1	1	2	2	2
	指定訪問介護(人)	16	16	17	17	16	16
	指定介護予防訪問介護(人)	-	-	-	-	-	-
	指定訪問入浴(人)	5	4	4	4	4	4
	指定予防訪問入浴(人)	-	-	-	-	-	-
	件数合計	104	101	102	104	98	98
	ヘルパー実働(時間)	41.00	45.00	61.50	80.50	77.95	82.50
	生活援助	86.76	86.23	95.73	94.20	79.56	69.53
	予防訪問介護	-	-	-	-	-	-
	計	127.76	131.23	157.23	174.70	157.51	152.03
総合事業	入浴スタッフ稼働回数	寒 施	29	27	26	27	24
		キャンセル	2	-	-	1	1
	総合事業ケアプラン作成(人)	2	2	2	1	1	-
	訪問型サービス国基準(人)	7	7	7	6	6	5
	訪問型サービスA(人)	18	18	17	17	17	17
	件数合計	27	27	26	24	24	22
	ヘルパー実働(時間)	訪問型(国)	50.25	50.50	48.00	44.00	42.00
		訪問型(A)	82.25	89.50	77.25	83.00	76.25
		計	132.50	140.00	125.25	127.00	118.25
	42.75	74.75	117.50				
障害福祉サービス	指定特定相談支援	計画相談	28	3	5	19	9
		モニタリング	12	10	12	16	5
	対象者(人)	障害者	21	22	22	22	20
		知的障害者	1	1	1	1	1
		障害児	1	1	1	1	1
		計	23	24	24	24	22
	居宅介護	障害者	114.50	114.50	120.50	157.50	128.00
		知的障害者	-	-	-	-	-
		障害児	7.50	12.00	8.00	3.50	7.50
		計	122.00	126.50	128.50	161.00	135.50
	146.50	6.50	153.00				
重度訪問介護	家事援助(時間)	障害者	95.00	102.00	87.00	64.50	61.50
		知的障害者	3.00	3.00	5.00	3.00	4.00
		障害児	-	-	-	-	-
		計	98.00	105.00	92.00	67.50	65.50
	合計	220.00	231.50	220.50	228.50	201.00	217.50
	対象者(人)	身体障害者	1	1	1	1	1
	時間	身体障害者	8.00	12.00	27.00	27.00	31.50
	対象者(人)	障害者	-	-	-	-	-
		知的障害者	1	1	-	1	1
		障害児	-	-	-	-	-
同行援助	計	1	1	-	1	1	1
	行動援助	障害者	-	-	-	-	-
		知的障害者	10.00	10.00	-	10.00	10.00
		障害児	-	-	-	-	-
		計	10.00	10.00	-	10.00	10.00
	視覚障害者	2	2	2	1	2	2
	時間	視覚障害者	17.00	16.50	9.50	11.00	13.50
	対象者(人)	障害者	1	1	2	2	1
		知的障害者	-	-	-	-	-
		障害児	5	5	6	5	5
地域生活支援事業	計	6	6	8	7	2	6
	移動身体あり(時間)	障害者	6.00	6.00	10.50	10.00	11.00
		知的障害者	-	-	-	-	-
		障害児	11.00	15.50	15.50	9.00	-
		計	17.00	21.50	26.00	19.00	11.00
	移動身体なし(時間)	障害者	-	-	-	-	-
		知的障害者	-	-	-	-	-
		障害児	7.50	10.00	8.00	6.00	-
		計	7.50	10.00	8.00	6.00	-
	合計	24.50	31.50	34.00	25.00	11.00	28.50
サービス利用者	入浴事業対象者(人)	3	2	2	2	2	2
	障害者(回)	16	14	15	16	18	12
	計	9	8	10	9	4	8
	障害福祉対象者計	36	36	37	36	30	37
	サービス利用者 計	167	164	165	164	152	157
ヘルパー総稼働時間数		539.76	572.73	573.48	603.20	542.76	554.03
入浴事業稼働回数		45	41	41	43	42	36

資料一別表 3-②

		H30			H31			合計
		10月	11月	12月	1月	2月	3月	
介護保険適用	居宅サービスケアプラン作成(人)	79	76	75	78	75	75	933
	介護予防ケアプラン作成(人)	3	3	2	3	4	2	26
	指定訪問介護(人)	17	17	16	15	15	15	193
	指定介護予防訪問介護(人)	-	-	-	-	-	-	-
	指定訪問入浴(人)	4	4	4	4	4	4	49
	指定予防訪問入浴(人)	-	-	-	-	-	-	-
	件数合計	103	100	97	100	98	96	1,201
	ヘルパー実働 (時間)	身体介護	88.00	45.50	39.50	48.50	57.00	51.00
		生活援助	89.43	77.18	74.16	69.00	75.73	72.70
		予防訪問介護	-	-	-	-	-	-
		計	177.43	122.68	113.66	117.50	132.73	123.70
総合事業	入浴スタッフ稼動回数	実施	27	26	20	25	22	24
		キャンセル	1	-	5	1	2	-
	総合事業ケアプラン作成(人)	-	1	2	2	2	4	19
	訪問型サービス国基準(人)	5	5	5	4	3	3	63
	訪問型サービスA(人)	17	17	16	15	15	14	198
	件数合計	22	23	23	21	20	21	280
	ヘルパー実働 (時間)	訪問型(国)	37.25	41.75	33.00	32.00	24.00	26.00
		訪問型(A)	80.00	75.00	69.00	58.50	65.00	64.75
		計	117.25	116.75	102.00	90.50	89.00	90.75
								1,366.75
障害福祉サービス	指定特定相談支援	計画相談	14	14	13	11	14	11
		モニタリング	8	7	10	8	16	14
	対象者 (人)	障害者	23	21	22	22	22	21
		知的障害者	2	2	2	2	3	3
		障害児	1	1	1	1	-	-
		計	26	24	25	25	25	24
	居宅介護	身体介護 (時間)	障害者	174.50	151.50	190.00	172.50	164.00
		知的障害者	-	-	6.00	5.50	13.00	8.50
		障害児	5.50	5.00	5.00	7.00	-	-
		計	180.00	156.50	201.00	185.00	177.00	207.00
	家事援助 (時間)	障害者	51.50	49.50	44.50	45.50	44.50	41.00
		知的障害者	7.00	7.00	1.00	1.00	2.00	19.50
		障害児	-	-	-	-	-	-
		計	58.50	56.50	45.50	46.50	46.50	60.50
		合計	238.50	213.00	246.50	231.50	223.50	267.50
	重度訪問介護	対象者(人)	身体障害者	1	2	2	2	3
		時間	身体障害者	33.00	40.00	37.50	35.00	37.00
行動支援	対象者 (人)	障害者	-	-	-	-	-	-
		知的障害者	-	1	-	1	1	1
		障害児	-	-	-	-	-	-
		計	-	1	-	1	1	1
	時間	障害者	-	-	-	-	-	-
		知的障害者	-	8.00	-	10.00	10.00	10.00
		障害児	-	-	-	-	-	-
		計	-	8.00	-	10.00	10.00	10.00
	同行授業	対象者(人)	視覚障害者	3	1	2	2	2
		時間	視覚障害者	17.00	9.50	13.00	14.50	13.50
地域生活支援事業	対象者 (人)	障害者	2	2	1	1	3	1
		知的障害者	-	-	-	-	-	-
		障害児	6	5	5	5	5	57
		計	8	7	6	6	8	76
	移動身体あり (時間)	障害者	11.50	10.50	5.50	5.50	18.50	6.50
		知的障害者	-	-	-	-	-	-
		障害児	17.00	17.50	12.00	12.50	16.50	10.00
		計	28.50	28.00	17.50	18.00	35.00	16.50
	移動身体なし (時間)	障害者	-	-	-	-	-	-
		知的障害者	-	-	-	-	-	-
		障害児	10.00	5.50	7.50	7.00	8.00	6.00
		計	10.00	5.50	7.50	7.00	8.00	6.00
		合計	38.50	33.50	25.00	25.00	43.00	22.50
	入浴事業対象者(人)		2	2	2	3	3	28
	障害者(回)		18	18	16	19	15	17
	計		10	9	8	9	11	9
	障害福祉対象者計		39	35	35	37	39	36
サービス利用者 計		164	158	155	158	157	153	1,908
ヘルパー実稼働時間数		588.68	503.43	500.16	489.00	511.73	529.45	6,384.41
入浴事業稼働回数		45	44	36	44	37	41	495

別表3 平成30年度 介護サービス状況

		4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計
受	対象者(延べ人數)	12	7	13	17	35	9	11	9	7	10	9	15	154
託	時間	130.00	72.00	128.00	198.00	388.00	88.00	104.00	88.00	80.00	104.00	96.00	162.00	1,638.00
赤ちゃんヘルプ	対象者(延べ人數)	15	17	20	2	5	22	25	33	34	32	26	19	250
	時間	19.0	22.0	27.0	2.0	7.0	26.0	34.0	47.0	40.0	44.0	37.0	19.0	324.0
	回数	15	17	20	2	5	22	25	33	34	32	26	19	250
訪問終了者	対象者数	0	2	0	2	2	5	3	2	2	2	1	3	24
	サービス利用者 計	27	26	33	21	42	36	39	44	43	44	36	36	427

別表4 ほっとサポート状況

(平成30年4月～平成30年9月)

のべ利用者 23 名

実利用者数 3 名

単価(1時間:1,800円)

内 容	利用時間	単価	回数	時 間	金 額
介護保険制度外支援他	30分	900	2	1 H	1,800
“	1時間	1,800	14	14 H	25,200
“	1時間30分	2,700	7	10.5 H	18,900
合 計			23	25.5 H	45,900

(平成30年10月～平成31年3月)

のべ利用者 39 名

実利用者数 4 名

単価(1時間:3,500円)

※低所得者の方は1時間:2,000円

内 容	利用時間	単価	回数	時 間	金 額
介護保険制度外支援他	30分	1,750	6	3 H	10,500
“	30分 (時間外)	2,000	1	0.5 H	2,000
“	1時間	2,000	11	11 H	22,000
“	1時間	3,500	6	6 H	21,000
“	1時間 (時間外)	4,000	7	7 H	28,000
“	1時間30分	3,000	7	10.5 H	21,000
“	3時間 (時間外)	7,500	1	3 H	7,500
合 計			39	41 H	112,000

平成30年度介護サービス研修会開催状況

別表 5

	訪問介護	訪問入浴	居宅介護
4月14日(土) 9:00~11:00 社協3F大会議室 ○30年度の方針及び事業内容について(担当 中山)	○	○	○
4月17日13:30~15:00居宅連絡会(年間計画) 4月18日平成30年介護報酬改定について 4月24日13:00~14:00事例検討会			○
5月12日(土) 9:00~11:00 社協3F大会議室 ○発達障害児・者の正しい理解について～疑似体験～(担当 幸・松田)	○	○	
5月11日ケアマネジメント調整会議見学 5月16日13:30~15:30居宅連絡会(事例検討会) 5月21日13:00~14:00事例検討会			○
6月9日 (土)9:00~11:00 社協3F大会議室 ○感染症の正しい理解について(担当 幸・貝原)	○	○	
6月13日14:00~15:30居宅連絡(法改正に向け介護支援専門員の役割) 6月18日資質向上研修① 6月25日13:00~14:00事例検討会			○
7月14日(土) 9:00~11:00 社協3F大会議室 ○接遇について(担当総務・鬼塚)	○	○	○
7月12日14:00~15:30居宅連絡会(医師からの講話) 7月12日資質向上研修② 7月27日ケアマネジメント調整会議見学 7月30日13:00~14:00事例検討会			○
8月11日(土) 9:00~11:00 社協3F大会議室 ○訪問介護における自立支援「自立生活支援のための見守り的援助」を行うために(担当福島)	○	○	
8月7日資質向上研修① 8月16日質向上研修③ 8月21日13:30~15:00居宅連絡会(社会資源、SCと情報交換・事例検討) 8月28日13:00~14:00事例検討会			○
9月8日(土) 9:30~11:30 社協2F多目的室 ○AIDS/HIVについての正しい理解 AIDS/HIV総合治療センター城崎 真弓氏首藤 美奈子氏 9月5日資質向上研修④ 9月6日資質向上研修② 9月14日ケアマネジメント調整会議に事例提出 9月18日13:30~15:00居宅連絡会(災害時の対応・事例検討) 9月25日11:00~12:00事例検討会	○	○	
10月13・27日(土) ○施設見学(担当 幸) 見学先:社会福祉法人多々良福祉会 たいようの里	○	○	
10月4日資質向上研修⑤ 10月12日資質向上研修③ 10月11日筑紫地区CM協研修(スーパービジョンについて) 10月20日15:00~17:00ケアマネジメント調整会議見学 10月24日13:00~14:00事例検討会 10月1、9、15、22日主任CM研修(中山)			○
11月10日(土) 9:00~11:00 社協3F大会議室 ○口腔ケアの重要性について(担当 松田) 花田歯科クリニック 花田真也氏	○	○	
11月9日資質向上研修④ 11月27日13:30~15:30居宅連絡会(ケアプランチェックの留意点) 11月26日13:00~14:00事例検討会 11月9、12、19、29日主任CM研修(中山)			○
12月8日(土) 9:00~11:00 社協3F大会議室(事務局合同) ○高齢者・障がい者の人権研修・利用者のプライバシー保護・倫理観及び法令遵守(担当総務・鬼塚・中山)	○	○	○
12月6日資質向上研修⑤ 12月18日13:30~15:30居宅連絡会(ソーシャルワーカーとの交流) 12月25日13:00~14:00 事例検討会 12月7、14、21日主任CM研修(中山)			○
1月12日(土) 9:00~11:00 社協3F大会議室 ○認知症の正しい理解について(担当 松田・貝原)	○	○	
1月15日(13:30~15:30)居宅連絡会(障がい福祉サービス、事例検討) 1月28日13:00~14:00事例検討会 1月16、23、30主任CM更新研修(阿相)			○
2月9日(土) 9:00~11:00 社協3F大会議室 ○虐待防止について(担当 秦・今坂)	○	○	
2月19日居宅連絡会(次年度研修計画) 2月20日 筑紫地区CM協研修(災害時のマネジメント) 2月25日13:00~14:00事例検討会 2月6、13、20、27日主任CM更新研修(阿相)			○
3月9日(土) 9:00~11:00 社協3F大会議室 ○事例検討 社協のヘルパーとして(担当 福島)	○	○	
3月19日13:30~15:30居宅連絡会(事例検討) 3月25日13:00~14:00事例検討会 3月3日主任CM更新研修(阿相)			○

訪問介護・訪問入浴職員全員参加(新任職員も含む)、毎回ヒヤリハット報告・事務連絡あり。
居宅介護については、毎週の定期会議の他月1回の事例検討会開催。大野城市居宅介護支援事業者連絡会もしくは筑紫地区介護支援専門員連絡協議会の研修に交替で参加。

別表-6

平成30年度 福祉食事業サービス利用状況

月	利用者数	利 用 食 数						1日平均利用者			当月利用者世帯状況						未利用者内訳				新規
		昼食	夕食	計	昼食	夕食	1日	单身	夫婦	身障者	知障者	精障者	その他	廃止	入院	施設	死亡	その他			
4月	高齢者 障がい者	66 4	461 57	1,237 53	1,698 110	15 2	41 2	57 4	59 61	3 2	0 0	0 0	4 5	4 5	4 3	4 3	2 1	1 0	1 0	4	
5月	高齢者 障がい者	67 5	475 63	1,354 69	1,829 132	16 2	45 2	61 4	61 2	2 0	0 0	0 0	5 4	4 4	3 3	1 1	0 0	0 0	0 2		
6月	高齢者 障がい者	67 6	426 64	1,297 84	1,723 148	14 2	43 3	57 5	61 2	2 1	0 0	5 5	4 4	1 1	4 4	0 0	1 1	0 0	2		
7月	高齢者 障がい者	69 7	401 88	1,350 118	1,751 206	13 3	45 4	58 7	63 63	2 1	1 1	5 5	4 4	1 1	7 7	0 0	0 0	0 0	3		
8月	高齢者 障がい者	68 7	404 109	1,364 135	1,768 244	13 4	45 5	59 8	62 63	2 1	1 1	5 5	4 4	1 1	4 4	0 0	0 0	0 1	3		
9月	高齢者 障がい者	75 7	400 112	1,426 138	1,826 250	13 4	48 5	61 8	65 62	6 2	1 1	5 5	4 4	1 1	4 4	0 0	0 0	0 0	3		
10月	高齢者 障がい者	76 7	434 119	1,536 150	1,970 269	14 4	51 5	66 9	65 59	7 7	1 1	5 5	4 4	1 1	4 4	0 0	2 1	0 0	0 1	7	
11月	高齢者 障がい者	71 7	390 145	1,415 113	1,805 258	13 5	47 4	60 9	60 51	7 6	1 1	5 5	4 4	1 1	4 4	2 2	0 0	0 0	0 0	3	
12月	高齢者 障がい者	77 7	405 112	1,453 102	1,858 214	14 4	48 3	62 7	63 63	10 1	1 1	4 4	4 4	1 1	3 3	0 0	0 0	0 0	2		
1月	高齢者 障がい者	78 6	486 100	1,449 97	1,935 197	16 3	48 3	65 7	65 46	9 8	1 1	4 0	4 4	3 4	4 4	0 0	0 0	0 1	6		
2月	高齢者 障がい者	76 5	510 71	1,381 53	1,891 124	17 2	46 4	63 4	64 64	8 1	0 0	4 4	4 4	1 1	4 4	1 1	0 0	2 2	5		
3月	高齢者 障がい者	77 4	571 79	1,440 42	2,011 121	19 3	48 1	67 4	64 64	10 1	0 0	3 3	3 3	2 2	6 6	1 1	0 0	1 1	3		
	合計		939	6,482	17,856	24,338										20	42	7	2	9	42

別表7 職員研修参加等実績

◇ 外部研修

新入社員8つの基本行動	5/3・5/4	天神クリスタルビル	益坂
平成30年介護報酬改定説明会	4/18	パビヨン24ガスホール	阿相・鬼塚
平成30年度福岡県共同募金新任研修	4/27	クローバープラザ	小川・横川
平成30年度筑紫地区介護保険事業者連絡協議会 第1回研修会	5/18	大野城まどかぴあ	小谷・松田・中山
平成30年度ストレスマネジメント研修	6/14	クローバープラザ	同相
平成30年度感染症予防研修(前期)	6/15	大野城まどかぴあ	福島
主任介護支援専門員向け資質向上研修 第1回	6/18	久留米市リサーチパーク	阿相
平成30年度ストレスマネジメント研修	6/25	クローバープラザ	金丸
安全運転管理者等講習	6/25	クローバープラザ	井上
平成30年度第1回社会福祉法人経営セミナー	6/25	中小企業振興センター	局長
防火管理者講習会	6/27・6/28	筑紫野市生涯学習センター	井上・高原
大野城市民生委員児童委員連合協議会一泊研修	6/19・6/20	長崎県島原市	金丸
主任介護支援専門員向け資質向上研修 第2回	8/7	福岡市男女参画推進センターアミカス	阿相
主任介護支援専門員向け資質向上研修 第3回	8/16	久留米市リサーチパーク	鬼塚
平成30年度労務管理研修	8/20	クローバープラザ	高原
ふくおかライフレスキュー事業 平成30年度サポート要請研修	7/23・8/9・8/23	クローバープラザ・嘉穂交流センター	井上
ふくおかライフレスキュー事業 平成30年度サポート要請研修	7/23・8/21・8/24	クローバープラザ・古賀市保健福祉総合センター・サンコスマ古賀	小川
平成30年度安全運転管理者等講習会	8/23	博多市民センター	局長
平成30年度福岡県防災講演会シニア災害ボランティアセミナー	9/3	福岡センタービル	益坂
主任介護支援専門員向け資質向上研修 第4回	9/5	久留米リサーチパーク	鬼塚
平成30年度キャラバンメイト養成研修	9/19	クローバープラザ	福留
主任介護支援専門員向け資質向上研修 第5回	10/4	久留米リサーチパーク	鬼塚
主任介護支援専門員向け資質向上研修 第3回	10/12	福岡市男女参画推進センターアミカス	阿相
ふくおかライフレスキュー事業 平成30年度地区連絡会事務局会議	10/18	クローバープラザ	小川、益坂
平成30年度アルコール講演会	10/19	筑紫総合庁舎	益坂
平成30年度 福岡県日常生活自立支援事業 生活支援員研修会	10/31	クローバープラザ	村上
消費生活サポートフォローアップ講座	11/1	福岡県吉塚合同庁舎	馬場
主任介護支援専門スキルアップ研修第5回	11/9	福岡赤十字病院	阿相
NPO広報講座	11/14	福岡NPO・ボランティアセンター	永田
福岡県地域福祉活動職員連絡会研修	11/16	エイムアテイン博多駅東	小川
第18回福岡県ねんりんスポーツ・文化祭	11/23	伊都文化会館	井上
平成30年度第1回福岡地区法人後見実施社協による意見交換会	11/26	福津市健康福祉総合センター	井上
ふくおかライフレスキュー事業第3回フォローアップ研修	11/30	福岡商工会議所	井上
平成30年度業務目標の設定・管理・達成研修	2/28・3/2	クローバープラザ	井上、高原
平成30年度福岡県日常生活自立支援事業生活支援員養成研修会	1/16	宗像シーメイト	村上
主任介護支援専門員更新研修(全8回)	1/16～3/6	クローバープラザ	阿相
福岡地区地域福祉活動専門員連絡会平成30年度課題別研修	1/23	クローバープラザ	金丸
自治体向け研修会「子ども・若者支援の地域連携」研修	1/15	福岡県庁	山内
平成30年度地域担当職員研修会	1/17	クローバープラザ	山内
平成30年度市町村社会福祉協議会会計セミナー	1/22	クローバープラザ	高原
平成30年度実務研修における実習指導者研修会	1/22	クローバープラザ	中山
平成30年度福祉教育セミナー	1/30	クローバープラザ	益坂
平成30年度ふくおか“きずな”フェスティバル	2/17	クローバープラザ	益坂
平成30年度市町村社会福祉協議会会長・常務理事・事務局長会	2/25	クローバープラザ	会長、局長
平成30年度地域担当職員研修	2/26	クローバープラザ	高原
平成30年度福岡県障がい者福祉サービス事業所等支援員研修	2/28	大博多ビル	秦
地域共生社会の構築に向けた九州沖縄研究大会	3/9	都久志会館	馬場

毎月第2土曜日 介護サービス定例研修